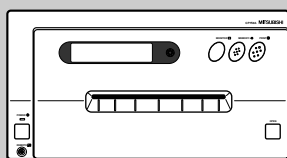


MITSUBISHI

三菱カラービデオコピープロセッサ
形名

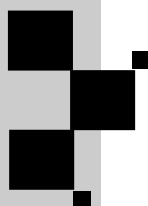
CP750A 取扱説明書



この取扱説明書は自然保護
のためエコマーク認定の再
生紙を使用しています。



このたびは三菱カラービデオコピープロセッサを
お買い上げいただきありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。
お読みになった後は、大切に保管してください。
万一ご使用中にわからないことや不都合が生じたとき
きつとお役にたちます。



COLOR VIDEO COPY PROCESSOR

もくじ

安全のために必ず守ること	4 ~ 7
使用上のお願い	8 ~ 9
各部の名称とはたらき	10 ~ 12
前面	10
後面	11
リモコン	12
接続のしかた	13 ~ 14
モニターとの接続	13
RGBアナログ信号機器との接続	14
ご使用前の準備	15 ~ 19
プリント用紙とインクシート	15
プリンティングユニット固定ねじ・保護クッションのはずしかた	15 ~ 16
プリント用紙の入れかた	16 ~ 18
インクシートの入れかた	18 ~ 19
プリント用紙の取扱い	19
プリントのしかた(基本編)	20 ~ 24
プリントするまえに	20 ~ 23
メモリープリント	23 ~ 24
画像をメモリー/プリントする	23
プリント範囲の設定	23
連続プリントのしかた	24
プリントのしかた(応用編)	25 ~ 27
マルチプリント	25
セパレートプリント	25 ~ 26
後面外部リモート端子1	26
後面外部リモート端子2	27
機能設定 (メニュー画面チャート)	28 ~ 31
モニター画面チャート	28 ~ 29
液晶ディスプレイチャート	30 ~ 31









機能設定 (Main Menu).....	32 ~ 42
Main Menu の表示項目	32
メニューの選択と設定	32 ~ 33
Color 画像調節画面	34
AnaColor アナログ画像調節画面	34
Signal 信号選択画面	34 ~ 35
SigCustom カスタム画像調節画面	36
Multi マルチプリント設定画面	38
Print プリント設定画面1	38 ~ 39
Area プリント範囲設定画面	40
Comment コメント作成画面	41 ~ 42
System システム設定画面1	42
機能設定 (Mem SW Main Menu).....	43 ~ 48
Mem SW Main Menu の表示項目	43
Mem SW Main Menu の操作	43 ~ 44
Key Set ボタン機能設定画面	44
Sig Adj 信号設定画面	45
Print Set プリント設定画面2	46
System Set システム設定画面2	47
Extend 機能拡張画面	48
エラーメッセージと処置	49
修理を依頼する前に	50 ~ 51
紙づまり等の処置	52
ヘッドクリーニングについて	53
仕様と別売品	54 ~ 55

安全のために必ず守ること


誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

 警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの	 注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの
---	---	---	-------------------------------------

図記号の意味は次のとおりです。

	絶対に行わないでください		絶対に分解・修理はしないでください		絶対に触れないでください
	絶対に水にぬらさないでください		絶対にぬれた手で触れないでください		必ずアース線を取り付けてください
	必ず指示に従い、行ってください		必ず電源プラグをコンセントから抜いてください		

製品のイラストは参考例ですので、お買いあげの機種により、形状が異なる場合があります。また、お買いあげの機種には、該当しない説明も含まれています。



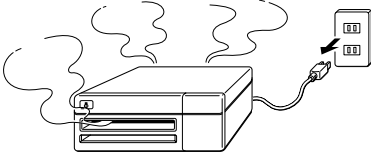

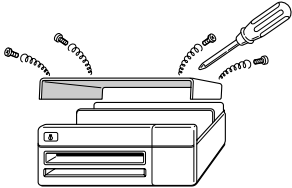

警告

万一異常が発生したときは、電源プラグをすぐ抜く!!

異常のまま使用すると、火災や感電の原因となります。すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に修理をご依頼ください。



プラグを抜く

<p>煙が出ている、変なにおいがするなど、異常なときは、電源プラグをすぐ抜く!!</p> <div style="text-align: center;">   <p>使用禁止</p> </div> <p>異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。すぐに電源を切ったあと電源プラグをコンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認してから、販売店に修理をご依頼ください。</p>	<p>キャビネット(天板)をはずしたり、改造しない</p> <div style="text-align: center;">   <p>分解禁止</p> </div> <p>内部には電圧の高い部分があり、さわると感電の原因となります。また、改造すると、ショートや発熱により、火災や感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は、販売店にご依頼ください。</p>
--	--

警告

安全・お願い

各部の名称

接続のしかた

準備

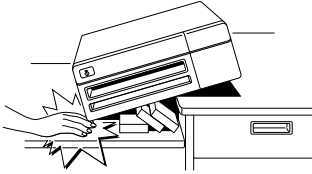
プリント

機能設定

トラブル

その他

不安定な場所には置かない



禁止

ぐらついた台の上や傾いた所などに置くと、落ちたり倒れたりして、けがの原因となります。

落としたり、キャビネット(天板)を破損した場合は使わない

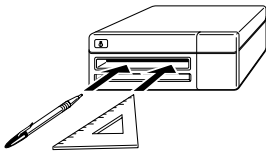


使用禁止

火災や感電の原因となります。

内部に異物を入れない

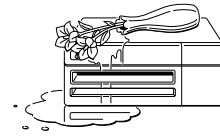
特にお子様にご注意を



禁止

用紙排出口や通風孔から金属類や燃えやすいものなどが入ると、火災や感電の原因となります。

花瓶やコップ、植木鉢、小さな金属物などを上に置かない

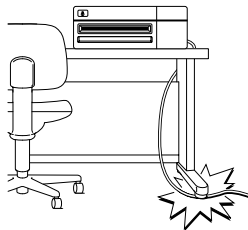


水ぬれ禁止

内部に水や異物が入ると、火災や感電の原因となります。

電源コードを傷つけない

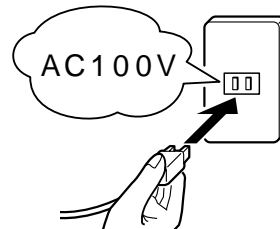
重いものをのせない 引っ張らない ねじらない
無理に曲げない 加熱しない 加工しない



禁止

コードに傷がつくと、火災や感電、故障の原因となります。
電源コードの芯線が露出したり断線するなど、コードが傷んだときは、すぐに販売店に修理をご依頼ください。

正しい電源電圧(交流100V)で使う



交流100V

交流100V以外の電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。

水でぬらさない



水ぬれ禁止

火災や感電の原因となります。
雨天時の窓辺での使用は、特にご注意ください。

付属のACプラグ2P変換アダプタを使用するときは確実に接地する



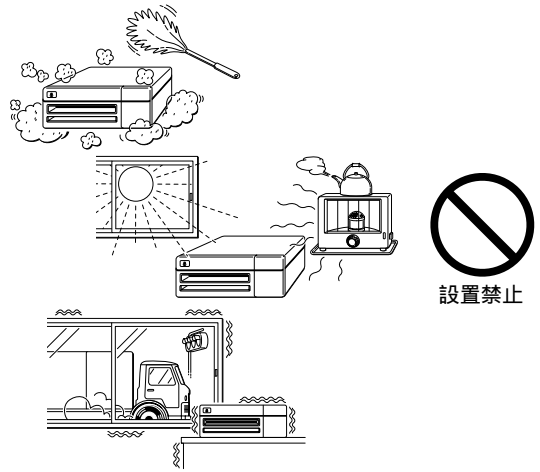
確実に接地する

確実に接地せずに使用すると、感電、火災、故障の原因となります。また、アース線と異電極との接触などにより、感電、火災、故障の原因となります。

⚠ 注意

設置時は、次のような場所には置かない

- 湿気やほこりの多い場所
- 風通しの悪い狭い場所
- 油煙や湯気が当たる場所
- 直射日光の当たる場所や熱器具の近くなど、高温になるところ
- 硫化水素、酸化イオウなどが発生する場所
- 振動がある場所



このような場所に置くと、ショートや発熱、電源コードの被膜が溶けるなどにより、火災や感電、故障、変形の原因となることがあります。

通風孔をふさがない

- 風通しの悪い狭い場所に置かない
- テーブルクロスなどをかけない



通風孔をふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

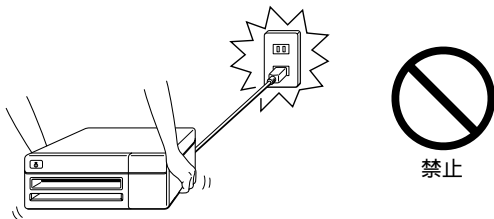
本機の上に重いものを置いたり、本機の上にのらない

特にお子様にご注意を



バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

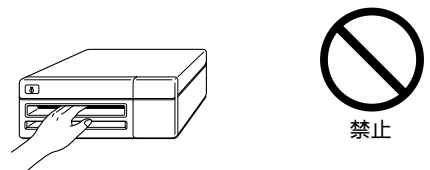
接続したまま本機を移動させない



電源コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。電源コードや接続機器とのケーブルをはずしたことを確認してから移動させてください。

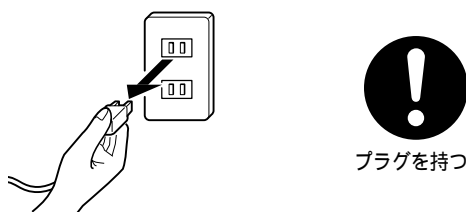
プリント用紙排出口に手を入れない

特に小さなお子様にご注意を



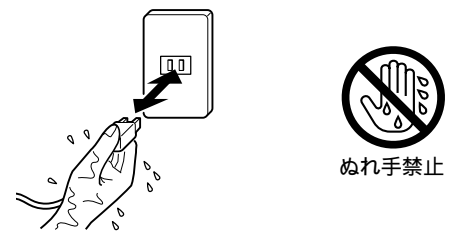
プリント用紙排出口内部には用紙を切るためのカッターがついていますので、手を切るなどのけがの原因となることがあります。

電源プラグを持って抜く



電源コードを引っ張ると、コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない



感電の原因となることがあります。

 注意	
<p>プリンティングユニットを引き出したままにしない</p> <p style="text-align: center;"> 禁止</p> <p>ユニットを引き出したまま本機を動かすと、ユニットが引き戻され、けがや故障の原因となることがあります。</p>	<p>プリンティングユニットは確実に押し込んで閉じる</p> <p style="text-align: center;"> 禁止</p> <p>本機を動かしたときに、ユニットが引き出され、けがや故障の原因となることがあります。</p>
<p>本機内部のサーマルヘッドには触れない</p> <p style="text-align: center;"> 接触禁止</p> <p>高温になっている場合があるため、触れるとやけどやけがの原因となることがあります。</p>	<p>紙詰まりの処置の際は、取扱説明書で指定している場所以外には触れない</p> <p style="text-align: center;"> 接触禁止</p> <p>内部には高温の部分があり、触れるとやけどの原因となることがあります。</p>
<p>長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いておく</p> <p style="text-align: center;"> プラグを抜く</p> <p>安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。</p>	<p>お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行う</p> <p style="text-align: center;"> プラグを抜く</p> <p>安全のため、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。</p>
<p>電源プラグのほこりなどは定期的に取り、差し込みの具合を点検する</p> <p style="text-align: center;"> ほこりを取る</p> <p>ほこりなどがついたり、コンセントへの差し込みが不完全な場合は、火災や感電の原因となることがあります。</p> <p>1年に1回はプラグとコンセントの定期的な清掃をし、最後までしっかり差し込まれているか点検してください。</p>	<p>5年に一度は内部の掃除を依頼する</p> <p style="text-align: center;"> 内部掃除</p> <p>販売店にご依頼ください。</p> <p>内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと、火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うのが効果的です。内部掃除費用については、販売店にご相談ください。</p>
<p>日本国内専用です</p> <p style="text-align: center;"> 日本専用</p> <p>信号方式、電源電圧の異なる海外では使用できません。 This COLOR VIDEO COPY PROCESSOR set can not be used in foreign country as designed for Japan only.</p>	

使用上のお願い

<p>露付きが起こった場合は (本機の内部に水滴がつくことを露付きといいます)</p> <p>露付き状態で本機を使用すると、プリント用紙の表面に湿気や露が付き、印画品質の低下や紙づまりの原因となります。露付きが起こりそうなときは、電源を入れて2時間以上おいてからご使用ください。</p> <p>プリント用紙が装着されているときは、取り出ししてから電源を入れてください。</p> <p>露付きは次のようなときに起こります。</p> <ul style="list-style-type: none">・部屋を急激に暖房したとき・エアコンなどの冷風を直接当てたとき・本機を寒いところから暖かいところに移動させたとき <p>露付きしたプリント用紙は正常にプリントできない場合がありますので、新しい用紙と取り替えてください。</p>	<p>接続機器、接続ケーブル</p> <p>本機に接続して使用する機器の取扱説明書に記載されている「使用上のご注意」をよくごらんください。</p> <p>接続ケーブルは指定のものをご使用ください。</p>
<p>置き場所、取扱い</p> <p>水平においてください。傾いた状態や不安定な場所で使用すると、本機に悪い影響を与えます。</p> <p>殺虫剤など揮発性のものをかけたり、ゴムやビニール製品を長時間接触させないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。</p> <p>周囲温度は5 ~ 40 (プリカットシール紙使用時は5 ~ 35) 湿度は20% ~ 80%でお使いください。本機をシステムラックに組み込んだときは、ラック内の温度、湿度も上記の範囲でお使いください。</p> <p>本機の上に重いものを載せないでください。キャビネットを傷めたり、故障の原因となります。</p> <p>プリンティングユニットを引き出したときは、ユニットを押さえつけないでください。故障やプリント不良の原因となります。</p>	<p>プリント中は</p> <p>本機を動かしたり、前面ドアを開けたりしないでください。プリント不良の原因となります。</p> <p>プリント用紙を引っ張らないでください。プリント不良やエラーの原因となります。</p> <p>プリント用紙、シートカートリッジ</p> <p>プリント終了後、ペーパーが紙出口に出てきたら、そのまましておかず1枚ずつ取り出してください。そのままにしておくと紙づまりの原因となります。</p> <p>プリント用紙やシートカートリッジに付着したゴミやホコリ、あるいは低・高温時における変形等のためプリント画の中に微妙な色抜けや色ムラ、スジ、シワが発生することがあります。</p> <p>電源を切るときは</p> <p>プリント終了後に切ってください。プリント中に電源を切ると、プリントが中断し、紙づまりの原因となります。</p>

<p>お手入れ</p> <p>前面パネル部分の汚れは柔らかい布でふいてください。</p> <p>汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に浸した布をよくしぼって汚れをふき取り、乾いた布で仕上げてください。</p> <p>化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書にしたがってください。</p> <p>ベンジン、シンナーなどの溶剤は、使わないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。</p>	<p>サーマルヘッドの磨耗と交換</p> <p>サーマルヘッドは磨耗します。サーマルヘッドが磨耗すると鮮明な画像がプリントできなくなることがあります。このような場合はサーマルヘッドの交換が必要です。</p> <p>サーマルヘッドの交換は販売店にご相談ください。</p>
<p>引っ越しや輸送のときは</p> <p>シートカートリッジおよびペーパーカセット内のプリント用紙を取り出し、保護クッションを入れてから梱包してください。</p> <p>プリンティングユニットを固定できる機種の場合は、梱包前に輸送用固定ネジでプリンティングユニットを固定してください。</p>	<p>著作権</p> <p>ご自身が制作、撮影した映像以外からのプリントは、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。</p>

安全・お願い

各部の名称

接続のしかた

準備

プリント

機能設定

トラブル

その他

この装置は、第一種情報装置(商工業地域において使用されるべき情報装置)で商工業地域での電波障害防止を目的とした情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)基準に適合しております。

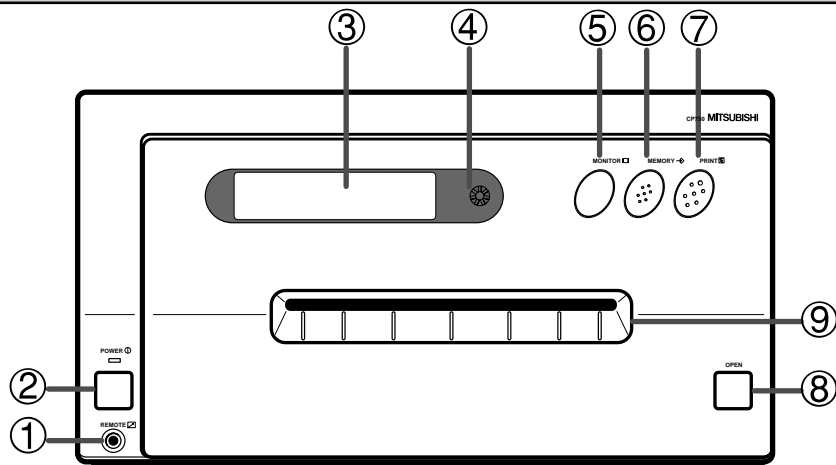
従って、住宅地域またはその隣接した地域で使用すると、ラジオ、テレビジョン受信機等に受信障害を与えることがあります。

取扱説明書に従って正しい取扱いをしてください。

本機を使用中に万一発生した故障等の不具合によりプリントされなかった内容の補償についてはご容赦願います。

各部の名称とはたらき

前面



① REMOTE端子

付属のリモコンを接続します。

② POWERボタン

電源のON/OFFに使います。ボタンを押す度にON / OFFが切り替わります。電源が入ると、ボタン上部のインジケータが点灯します。

③ 液晶ディスプレイ

入力信号の設定状態を表示したり各種機能の設定に使います。

機能設定はモニターや液晶ディスプレイに表示されるメニュー画面を使います。(P28～31参照)

④ LCD CONTRAST ボリューム

液晶ディスプレイのバックライトの明るさを調節します。指で押しながら回します。

表示される文字が見やすいように、適度な明るさに設定します。

⑤ MONITOR ボタン

モニター画面の表示を切換えます。ボタンを押す度に、外部機器から入力している信号の画像(スルー画)と本機が記憶している画像(メモリー画)が切り替わります。

⑥ MEMORY ボタン

プリントする画像を記憶させるときに押します。

⑦ PRINT ボタン

MEMORYボタンで記憶した画像をプリントするときには押します。プリント中は緑のランプが点灯します。画面は接続機器からの画像に切り替わります。

⑧ OPEN ボタン

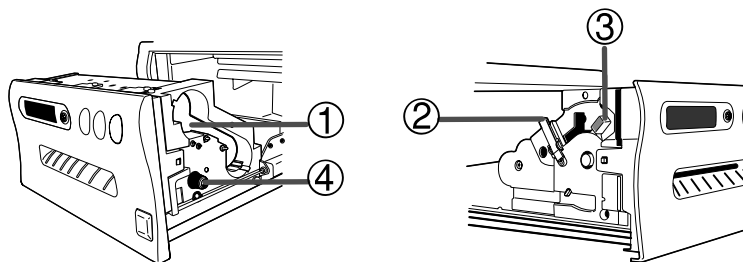
押すとプリンティングユニット全体が押し出されます。

プリンティングユニットはインクカセットやプリント用紙を入れるとき、または紙詰まりの処理をするときに引き出します。

⑨ プリント出口

プリントされた用紙の出口です。

プリンティングユニット内部



① インクカセット装着口

インクシートの入ったカセットを入れます。

② カセットロックアーム

カセットを取出すとき内側に押します。

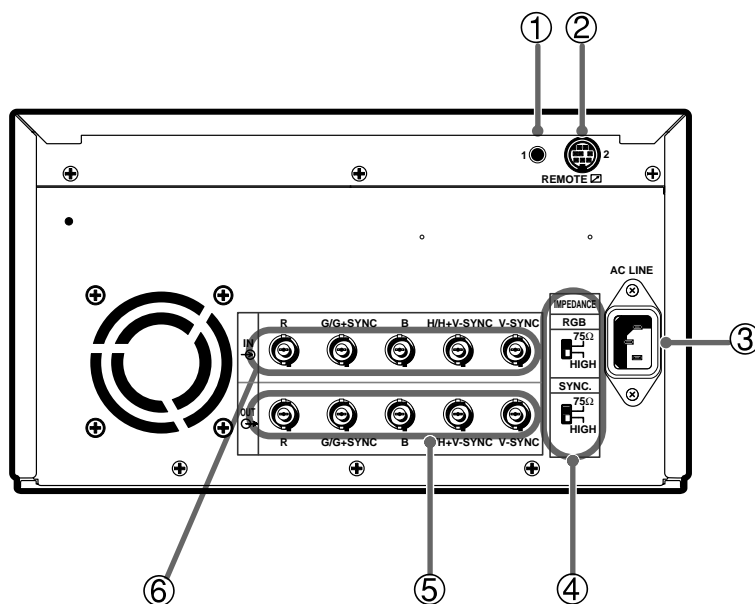
③ 紙押さえノブ

プリント用紙を装着するときに上げ、下げします。

④ 紙送りノブ

プリント用紙を巻き戻すときに時計方向にまわします。

後面



リモート ① REMOTE 1 端子

リモート信号を入力すると画像をメモリーできます。
ボタン機能Memory & PrintをONにすると画像をメモリーしてプリントできます。
ご利用にはリモコン回路の作成が必要です。(P26参照) 付属のリモコンは接続しないでください。

リモート ② REMOTE 2 端子

リモート信号を入力するとメモリーやプリントができます。
ご利用にはリモコン回路の作成が必要です。(P27参照)

ライン ③ AC LINE ソケット

付属の電源コードを接続するソケットです。
確実に接続してください。

インピーダンス ④ IMPEDANCEスイッチ

[IMPEDANCE RGB SYNC.]
RGBまたは同期信号の入力インピーダンス75 / HIGH 切換スイッチです。

⑤ RGBアナログ出力端子

[R G/G+SYNC B H/H+V-SYNC V-SYNC]

RGBアナログ信号のモニター出力端子です。同期信号は入力されたものと同じ信号が出力されます。(P13参照)

⑥ RGBアナログ入力端子

[R G/G+SYNC B H/H+V-SYNC V-SYNC]

BNCタイプのRGBアナログ入力端子です。同期信号のH/Vセパレート、H/VコンポジットとSYNC. ON GREEN (緑ビデオ信号に同期信号複合) を自動選択します。

ただし、セパレートまたはコンポジットとSYNC. ON GREENが同時に入力された場合は、セパレートまたはコンポジット信号が優先されます。(P14参照)

安全・お願い

各部の名称

接続のしかた

準備

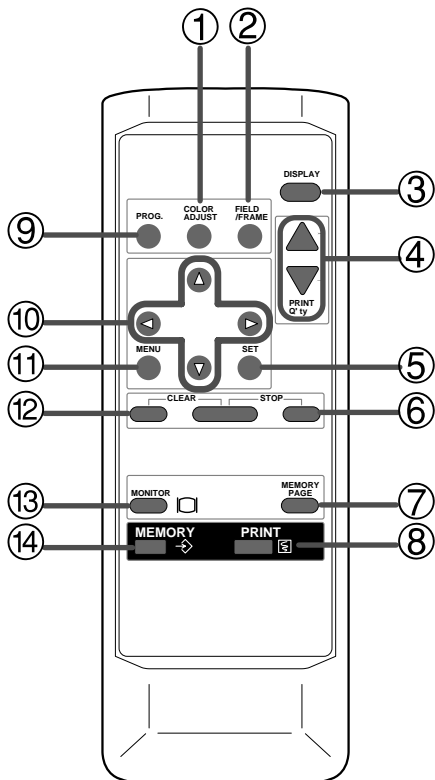
プリント

機能設定

トラブル

その他

リモコン



お知らせ

このリモコンは本機前面のREMOTE端子に接続します。後面のREMOTE 1端子に接続しても本機をコントロールできません。

カラー アジャスト

① COLOR ADJ ボタン

MENU画面の設定に使用します。押すと、画像調節画面が表示されます。(P28、34参照)

フィールド / フレーム

② FIELD/FRAME ボタン

入力信号のFIELD/FRAMEを切り替えます。選択されたモードは液晶ディスプレイに表示されます。静止画を高解像度でプリントするときはFRAME、動きの速い動画をプリントするときはFIELDが適しています。ノンインターレース信号時はFIELDに固定されます。(P20参照)

ディスプレイ

③ DISPLAY ボタン

本機の設定状態をモニター画面に表示します。もう1度押すと、DISPLAY画面が非表示となります。

プリント クオンティティ

④ PRINT Q'ty ▲、▼ ボタン

同一プリント枚数を設定します。設定したプリント枚数は、液晶ディスプレイに表示されます。▲で枚数を増やし、▼で枚数を減らします。(P24参照)

セット

⑤ SET ボタン

一度押すと、選択したメニューの設定項目が表示されます。設定後にもう一度押すと、設定値が記憶され通常画面に戻ります。(P28～31参照)

ストップ

⑥ STOP ボタン

左側のボタンと同時に押すと、実行中のプリントを中断します。プリント画像は中断した時点での処理状態でプリントされます。

メモリー ページ

⑦ MEMORY PAGE ボタン

2層とり込みをした場合の各層を切り替えてモニターで見ることができます。パソコンなどのドットクロックが3.4MHz以上ある信号を本機がメモリーする場合、自動的に画像が2層(2面)に分けて記憶されます。プリント時には2層を合成して1面のプリント画になります。

プリント

⑧ PRINT ボタン

MEMORYボタンで記憶した画像をプリントするときに押します。画面は接続機器からの画像に切り替わります。プリント中は本体に緑のランプが点灯します。

プログラム

⑨ PROG. ボタン

本機に記憶された各種設定を選択します。押すたびにプログラムが切り替わります。プログラムは3種類あり、任意に変更し、記憶できます。プリント中はプログラムの切り替えはできません。

⑩ ▲、▼、◀、▶ ボタン

MENU画面の設定に使用します。この4つのボタンで設定値の増減とカーソルの位置を変えます。記憶した画像を選ぶときにも使用します。(P32、43参照)

メニュー

⑪ MENU ボタン

押すとMain Menu画面が表示されます。本機の各種機能設定に使用します。(P28～31参照)

クリア

⑫ CLEAR ボタン

右側のボタンと同時に押すと、記憶されたメモリー画像を消去します。信号がUSER A(B、C)(P34参照)に設定されているとき、Customメニュー(P35参照)を表示して、右側のボタンと同時に押すと、USER A(B、C)の設定が初期化されます。

モニター

⑬ MONITOR ボタン

モニターの画像を入力している画像(スルー画)と記憶した画像(メモリー画)の間で切り替えるときに押します。

メモリー

⑭ MEMORY ボタン

プリントする画像を記憶させるときに押します。記憶した画像はモニター画面に表示されます。

接続のしかた

モニターに表示されるメニュー画面で、本機の各種機能の設定を行います。

- ・ モニターとの接続
- ・ RGBアナログ信号機器との接続 (パソコン等各種RGBアナログ信号形式の機器)

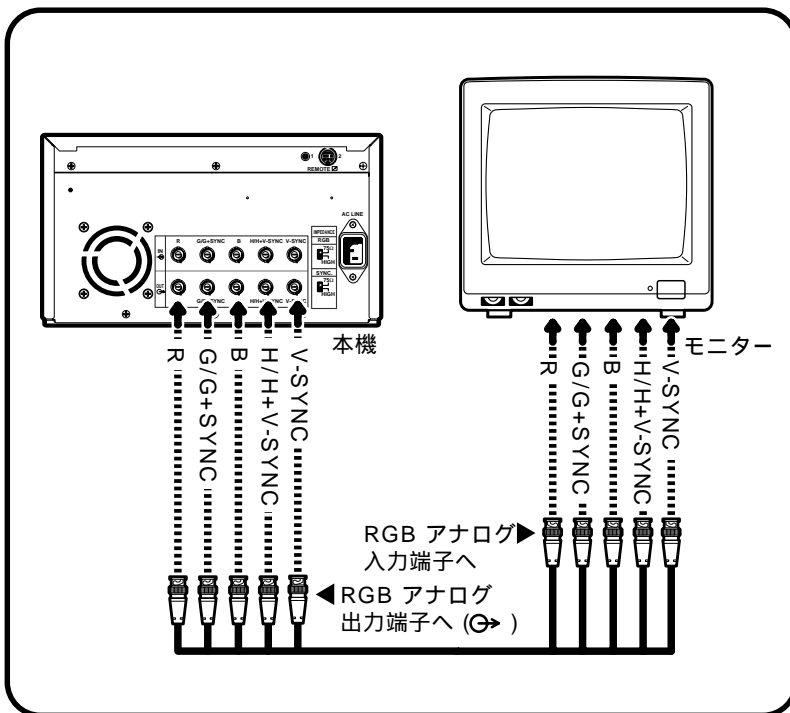
プリントする画像や記憶された画像を見るためには、モニターが必要です。

以下のようにモニターを接続してください。以下の例では、RGBアナログ端子の接続を示していますが、実際には、接続する機器にあわせて必要な信号を接続してください。

接続前に必ず本機および接続する機器の電源をOFFにしてください。

モニターとの接続

(接続例)



安全・お願い

各部の名称

接続のしかた

準備

プリント

機能設定

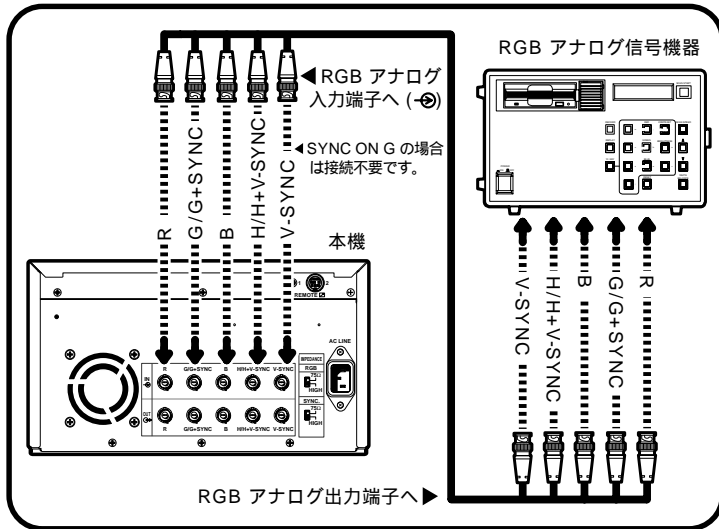
トラブル

その他

RGBアナログ信号機器との接続

接続するときは、必ず各機器の電源を OFF にしてください。

(接続例)



1 BNCケーブルで本機とRGBアナログ信号機器を接続します。

IBM PCと接続する場合は別売のケーブル(JC-BNC15GA)をお使いください。

Macintosh PCと接続する場合は別売のアダプタ(JC-1515MC)とケーブル(JC-BNC15GA)が必要です。

NEC PC98シリーズと接続する場合は別売のケーブル(JC-BNC15N)をお使いください。

次の名称は、それぞれの会社の製品名または商標です。

IBM PC、Macintosh PC、NEC PC

2 後面のRGBアナログ信号のIMPEDANCEスイッチを、75 にします。また、同期信号のIMPEDANCEスイッチを、HIGHにします。

3 本機の電源を入れ、液晶ディスプレイで接続状況を確認します。

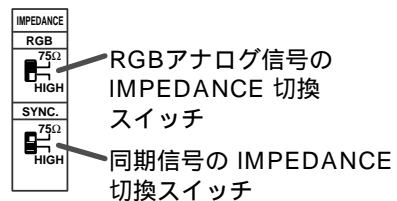
“SIG”または“FRAME”の表示部分に“ No Sig ”と表示されているときは、同期信号のH/H+V-SYNC、G/G+SYNCの接続を確認してください。“ No Sig ”と表示されているときは、本機やリモコンのボタンを操作できるまで、約20秒かかります。

“ AUTO ”の部分が“ MANU ”と表示されているときは、“ AUTO ”に切り替えてください。Main Menuにある2.Signal画面の“ Input ”での設定が必要です。(34、35ページ参照)

信号によっては、同期信号の入力形態の選択が必要です。Memory SW Main MenuにあるSig Adj画面の“ IN ”で設定を行ってください。(45ページ参照)

前記の各設定を行っても“ SIG ”が表示されないときはV BP、V FP(ともに35ページ参照)またはVOFST(45ページ参照)を調節してください。

水平周波数が高い信号機器(パソコンなど)と接続した場合、MENU画面表示中の画像はきれいに表示されませんが、プリント画は正常にプリントされます。



Normal PRG.1 Qty:1
LIVE AUTO[XXXXX] SIG

または“ FRAME ”

ご使用前の準備

プリントする前に次の準備をしておきます。

- 1 プリンティングユニット固定ねじ、保護クッションを外します。(下記)
- 2 プリント用紙とインクカセットを入れます。(16～18ページ)

プリント用紙とインクシート

故障の原因となることがありますので、当社純正のプリント用紙とインクシートをご使用ください。他社製をご使用になった場合は、保証いたしかねます。

■ インクシート

品名	インクシートサイズ	プリント数	用途
PK700S	Sサイズ	200枚	カラープリント用
PK700L	Lサイズ	130枚	カラープリント用

■ プリント用紙

品名	プリント用紙サイズ	プリント数	用途
CK700	S/Lサイズ兼用	Sサイズ約200枚 Lサイズ約130枚	カラープリント用
SCT-K65H	S/Lサイズ兼用	Sサイズ約200枚 Lサイズ約125枚	モノクロ感熱紙プリント用

■ プリント用紙+インクシート

品名	インクシートサイズ	プリント数	用途
CK700S4P	Sサイズ	110枚	表面保護コーティングカラープリント用
CK700L4P	Lサイズ	75枚	表面保護コーティングカラープリント用
CK700SC	Sサイズ	200枚	カラーシールプリント用
CK700LC	Lサイズ	130枚	カラーシールプリント用

■ インクシート+カセット(インクカセットにシートが組み込まれています)

品名	インクシートサイズ	プリント数	用途
PKC700S	Sサイズ	200枚	カラープリント用
PKC700L	Lサイズ	130枚	カラープリント用

プリンティングユニット固定ねじ・保護クッションの外しかた

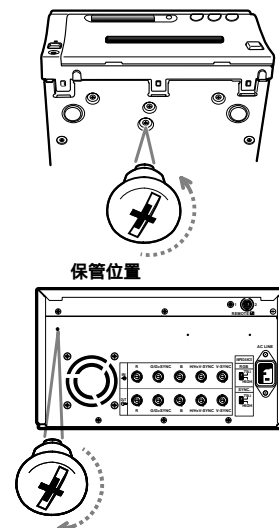
本機内部には輸送用の保護クッションが入っています。また、プリンティングユニットがねじで固定されていますので、本機をご使用前に次の手順で取りはずしてください。

■ プリンティングユニット固定ねじの外しかた

プリンティングユニット固定ねじは本機の底面にあります。

- 1 ドライバーやコインなどで、プリンティングユニット固定ねじを取り外します。
- 2 取り外した固定ねじを、本機後面の穴へ固定します。

取りはずした固定ねじは本機を輸送する場合に、もう一度取付けますので、上図のように本機後面に固定し、保管しておいてください。



安全・お願い

各部の名称

接続のしかた

準備

プリント

機能設定

トラブル

その他

ご使用前の準備

■ 保護クッションの外しかた

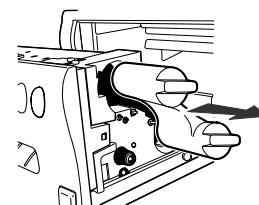
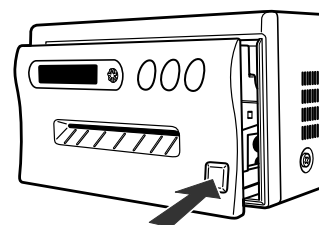
安全のため電源プラグはコンセントから抜いてください。

- 1 前面のOPENボタンを押します。
プリンティングユニットが押し出されます。

お知らせ

ヘッドには触れないようにしてください。
ヘッドにゴミや指紋が付くと印画不良の原因となります。

- 2 インクシート装着口内の保護クッションを右側から取り外します。
取り外した保護クッションは本機を輸送する場合にもう一度、取付けますので保管しておいてください。



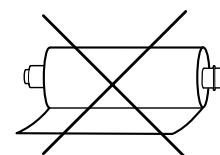
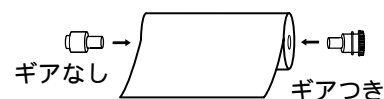
プリント用紙の入れかた

モノクロ感熱紙を使用する場合には、まず、次の準備をします。

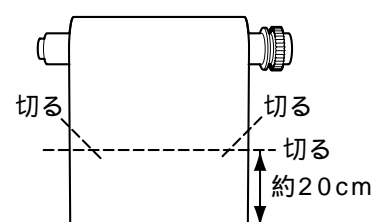
- 1 付属のアタッチメントを感熱紙の両側に取り付けます。

お知らせ

ギアの付いている部分を右側にします。取り付ける向きを間違えないようにご注意ください。



- 2 感熱紙を約20cm引き出し、切り取ります。
シールの糊、ごみや指紋の付いた部分を切り取ります。

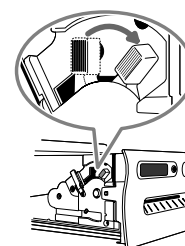


- 3 用紙の両先端を切り取ります。

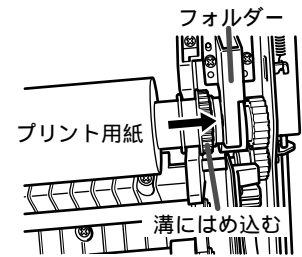
以上で感熱紙を入れる準備は完了です。

プリント用紙の入れかた

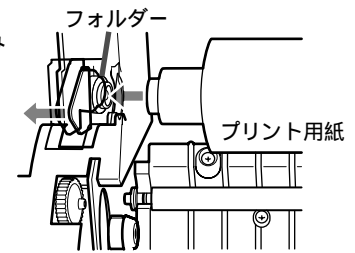
- 1 プリンティングユニット側面の紙押しノブを右図、矢印の方向(Paper Set側)へ動かします。



- ② プリント用紙を図の位置に入れます。
ギアの付いている部分を右側にします。

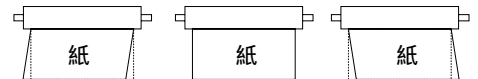
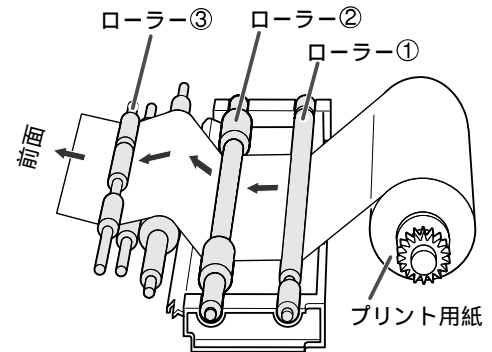


左側に入れる場合は本体側のフォルダーを左へ押して、プリント用紙ローラーをはめ込みます。

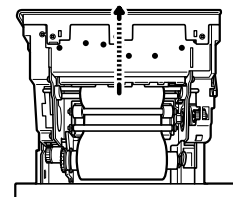


- ③ ローラー①、②の下のすき間に、順にプリント用紙を通します。

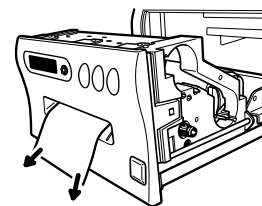
- ④ プリント用紙の先端をローラー③の下に差し込みます。
このとき、プリント用紙が斜めに入らないようにします。



- ⑤ プリント出口からプリント用紙が出てくるまで用紙を手で送り出します。



- ⑥ プリント用紙の両端を手で引っ張り、たるみを取ります。



安全・お願い

各部の名称

接続のしかた

準備

プリント

機能設定

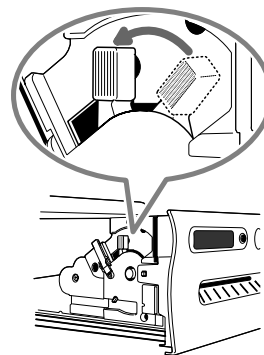
トラブル

その他

- 7 プリンティングユニット側面の紙押えノブを矢印の方向(Print 側)へ動かします。

お知らせ

プリント用紙装着時に用紙を引き出し過ぎると "PAPER JAM 12" が表示され、エラーとなる場合があります。この場合は次ページ「**■** プリンティングユニットを収納する」の3の操作を行ってください。



インクシートの入れかた (カラープリント)

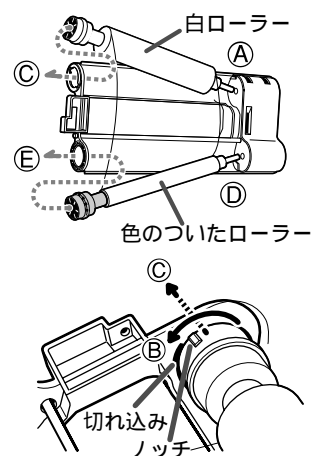
お知らせ

感熱紙にプリントするときには、インクシートは入れないでください。

■ インクシートの組込み

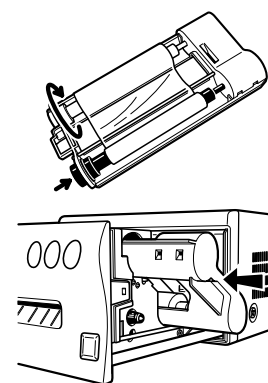
本機にインクカセットを装着する前に、別売のインクシートをインクカセットに組込んでください。

- 1 白ローラーの細い軸をインクカセットに差し込みます。 ①
- 2 白ローラーの太い軸をインクカセットに差し込みます。 ②③
③ ではローラーを回転させてローラー側のノッチをカセット側の切れ込みにあわせませ
ます。
ノッチを切れ込みに通すとローラーを取付けることができます。
- 3 インクシートの色がついたローラーをインクカセットに差し込みま
す。 ④⑤



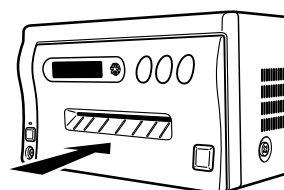
■ インクカセットの装着

- 1 インクシートのたるみを取ります。
色がついたローラーを押さえて、白ローラーを回します。
- 2 インクシートが入ったインクカセットを収納部に入れます。
カバーが付いている方を手前にして、本体に入れます。カチッと音がするまで押し込み
ます。
カセット交換などでカセットを取り出すときは、カセットロックアームを押してロッ
クを解除 してください。(10ページ参照)



■ プリンティングユニットを収納する

- 1 プリンティングユニットをカチッと音がするまで押し込みます。
- 2 本機の電源プラグをコンセントに差した後、前面のPOWERボタンを
押して電源を入れます。



- ③ 本機前面のMONITORボタンを押さえたまま、MEMORYボタンを約1秒間押します。

プリント用紙が約10cm送り出された後、裁断されます。

- ④ ③をもう1～2回行います。

(この動作は初期化動作で、プリント用紙装着時に指紋やごみが付いた部分を取り除くためのものです。またプリント準備のために、機械的な位置が初期状態に戻ります。)

お知らせ

③、④項のボタン操作は、必ずMONITORボタンを先に押してください。MEMORYボタンを先に押すと、画像をメモリーする操作となります。特に、すでに本機をご使用中で、プリント用紙やインクカセットを入れ換える場合は、MEMORYボタンを先に押すと、記憶していた、必要な画像が消えてしまう場合がありますのでご注意ください。

紙送り操作は、2～3回程度にしてください。プリント用紙は余裕を持って準備されていますが、繰り返し紙送りすると、所定の枚数分のプリント(15ページ参照)ができなくなる場合があります。

プリント用紙とインクカセットの装着は以上で完了です。

プリント用紙の取扱い

■ プリント前の取扱い

プリント用紙の表面に指紋やゴミ等が付いた場合、印画品質の低下や紙詰まりの原因になる場合があります。また、プリント用紙交換直後のプリント画2～3枚は、手のゴミや脂等により部分的にプリントできないことがあります。

本機を低温の場所から高温の場所へ急に移動した場合、紙の表面に湿気または露が付き、印画品質の低下や紙詰まりの原因になることがあります。このような場合には、本機をしばらく室内に放置してからご使用ください。

プリント中にプリント用紙やインクシートがなくなった場合はプリント動作が停止し、モニター画面または液晶ディスプレイにエラーメッセージ "PAPER EMPTY" や "SHEET CARTRIDGE ERROR" が表示されますので、新しいインクシートとプリント用紙をセットしてください。(49ページ参照)

プリント用紙装着時に紙送り操作を繰り返すと、所定の枚数分のプリントできなくなる場合があります。

■ プリント後の取扱い

プリントされた紙を湿った手で持つと、変色することがあります。

紙が揮発性有機溶剤(アルコール・エステル・ケトン類など)を吸収すると、画像が退色します。

セロテープ、軟質塩ビなどに密着させると、化学反応で退色が早くなりますのでご注意ください。

■ プリント用紙の保管

プリント後の紙は、なるべく直射日光など強い光の当たらない湿度の低い場所で保管してください。

軟質塩ビなどのフォルダーに保管しないでください、化学反応で脱色します。

プリント用紙は直射日光や暖房器具のそばを避け、温度5～30以下、湿度20%～60%RHの冷暗所で保管してください。

お知らせ

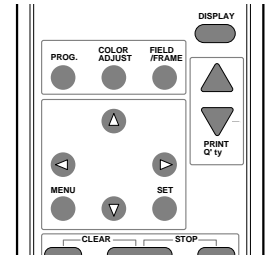
プリント用紙を本機に装着した状態で、本機を2日間以上放置していると、プリントを行った時に、最初に排出されたプリント用紙が曲がっている場合があります。これは、本機内部のローラーでプリント用紙が曲げられていたための現象ですので、故障ではありません。

プリントのしかた (基本編)

プリントするまえに

■ FIELD/FRAMEの選択

リモコンのFIELD/FRAME ボタンを押して、FIELDまたはFRAMEを選択します。



通常、静止画の高解像度のプリントをするときは FRAME を選びます。

動きの早い映像をプリントするときはFIELDを選びます。

FIELD を選択すると、画像は多少荒くなります。

選択したモードは本体の液晶ディスプレイに表示されます。

通常、モニター(テレビ)画面は2枚のフィールド画面が重なった、フレーム画面で表示されています。

ノンインターレース信号時はFIELDに固定されます。

■ 入力信号のタイミング設定

接続する機器にあわせて、入力信号のタイミングを設定します。

本機と接続機器の電源を入れてください。

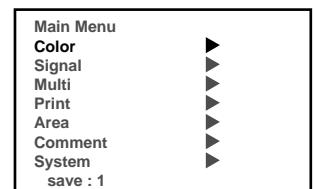
設定する信号タイミングは、接続する機器の説明書をごらんください。

入力信号の設定はモニターまたは液晶ディスプレイに表示されるメニュー画面で設定します。

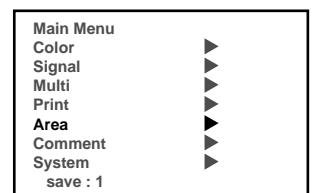
この設定は入力信号を変えない場合は、プリント時に毎回設定する必要はありません。

1 MENU ボタンを押します。

Main Menu 画面が表示されます。



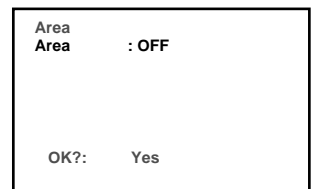
2 ▲、▼ボタンを押してArea画面を選択します。



3 ▶ボタンを押します。

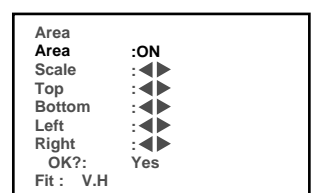
Area 画面が表示されます。

通常、Area画面を開いた場合には“Area”が選択されていますが、ボタン操作などで、他の項目が選ばれている場合は▲、▼ボタンを押してAreaを選んでください。



4 ▶ボタンを押してONを選択します。

プリント範囲を示す白枠が表示されます。

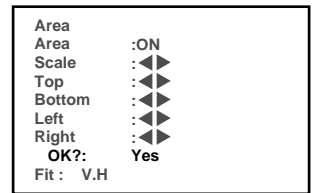


5 SETボタンを押します。

OK? : Yes が選択されます。

Yes が選択されています。

設定をやり直したい場合は▶ボタンを押して No を選択してください。SETボタンを押すと Area画面の Area がもう1度選択されます。



6 SETボタンを押します。

Main Menu画面に戻ります。



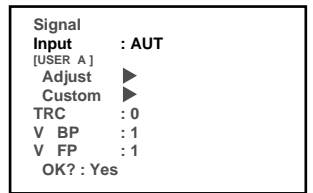
7 ▲、▼ボタンを押してSignal画面を選択します。

8 ▶ボタンを押します。

Signal画面が表示されます。

通常、Inputの項目ではAUTが選択されています。MANが選ばれているときは◀ボタンを押してAUTを選択してください。

Adjustの項目は、InputでAUTが選択されているときのみ表示されます。



9 ▲、▼ボタンを押してAdjustを選択します。

10 ▶ボタンを押します。

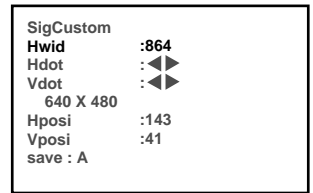
SigCustom 画面が表示されます。

自動設定された信号の各設定値が表示されています。

設定されたタイミングでは、モニター画像にズレや歪みが生じるときは、ここで設定の調整をします。

H-Dotが接続機器の表示画面水平画素数と合っているかを確認してください。数値が違うときは36ページをらんください。

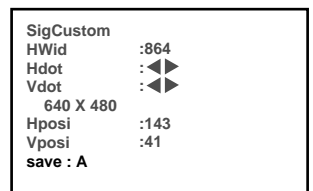
くわしくは37ページをらんください。



11 SETボタンを押します。

save が選択されます。

これは、SigCustom 画面で設定した内容を3つのプログラム(A、B、C)のいずれかに記憶させるための項目です。



12 ◀、▶ボタンを押して、設定を記憶するプログラムA、B、またはCを選択します。

プログラムは上書きされますので、すでに記憶しているプログラムを残しておきたい場合は、そのプログラムの記号は選択しないでください。

13 SETボタンを押します。

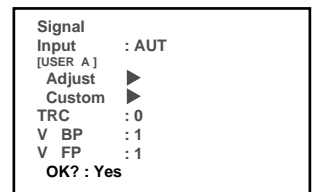
Signal 画面に戻ります。

14 SETボタンを押します。

OK? : Yes が選択されます。

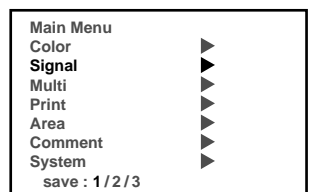
Yes が選択されています。

設定をやり直したい場合は▶ボタンを押して No を選択してください。SETボタンを押すと Signal 画面の Adjust がもう1度選択されます。



15 SETボタンを押します。

Main Menu画面に戻ります。



安全・お願い

各部の名称

接続のしかた

準備

プリント

機能設定

トラブル

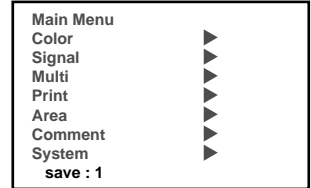
その他

プリントのしかた (基本編)

16 SETボタンを押します。

save が選択されます。

これは、Main Menu で設定した内容を3つのプログラム(1、2、3)のいずれかに記憶させるための項目です。

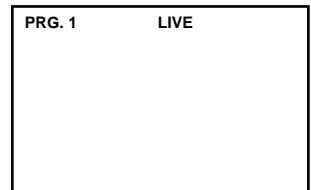


17 ◀、▶ボタンを押して、設定を記憶するプログラム番号1、2、または3を選択します。

プログラムは上書きされますので、すでに記憶しているプログラムを残しておきたい場合は、そのプログラム番号は選択しないでください。

18 SETボタンを押します。

スルー画面に戻ります。



以上で 入力信号のタイミング設定が終了しました。

入力信号に合ったモニター画面サイズが設定され、画面上の画像サイズに白枠があてはめられます。

画像が白枠よりズレていたり、黒い部分が目立つ場合は別のメニューでの調整が必要です。

くわしくは、37ページ「H-WidthとTRCについて」と36ページ「SigCustom」をごらんください。

各設定を初期状態に戻す場合は別メニューの設定が必要です。

47ページ「System Set」の「Init」をごらんください。

■ プリントサイズ S / L の設定

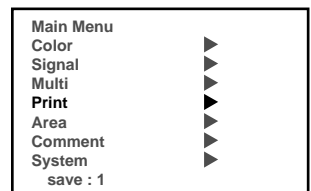
本機に装着したインクシートにあわせて設定します。

この設定はモニターまたは液晶ディスプレイに表示されるメニュー画面で行います。

この設定はインクシートのサイズを変えない限り、プリント時に毎回設定する必要はありません。

1 MENUボタンを押して、Main Menu画面を表示させます。

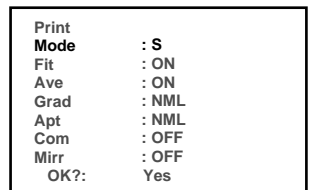
2 ▲、▼ボタンを押してPrint画面を選択します。



3 ▶ボタンを押します。

Print 画面が表示されます。

電源を入れた後は、本画面を開いた場合には Mode が選択されていますが、ボタン操作などで他の項目が選ばれている場合は、▲、▼ボタンを押して Mode を選んでください。



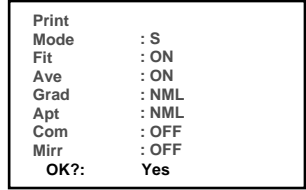
4 ◀、▶ボタンを押して S または L を選択します。

5 SETボタンを押します。

OK? : Yes が選択されます。

Yes が選択されています。

4での設定をやり直したい場合は▶ボタンを押して No を選択してください。SET ボタンを押すと Print 画面の Mode がもう1度選択されます。



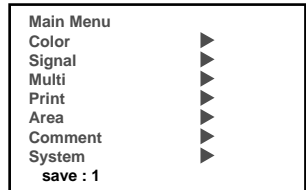
6 SETボタンを押します。

Main Menu画面に戻ります。

7 SETボタンを押します。

save 1/2/3 が選択されます。

このメニューは設定した内容を3つのプログラム(1、2、3)のいずれかに記憶させるための項目です。



8 ◀、▶ボタンを押して、設定を記憶するプログラム番号1、2、または3を選択します。

プログラムは上書きされますので、すでに記憶しているプログラムを残しておきたい場合は、そのプログラム番号は選択しないでください。

9 SETボタンを押します。

スルー画面に戻ります。

以上でプリントサイズの設定が終了しました。

メモリープリント

■ 画像をメモリー / プリントする

1 プリントする画像をモニターに映します。

2 MEMORY ボタンを押します。

3 PRINT ボタン を押します。

メモリーした画像がプリントされます。

モニターに表示された文字がギザギザに見える場合がありますが、プリント画像には影響しません。

■ プリント範囲の設定

メモリーした画像からプリントする範囲を決めて、プリントできます。

Main Menu の Area 画面で Area をONに設定すると、メモリー画面上に白枠が表示されます。

白枠はプリント範囲を示しています。プリント範囲は Scale, Top, Bottom, Left, Right の値を ◀、▶ ボタンで変えて設定します。

くわしくは40ページをごらんください。

安全・お願い

各部の名称

接続のしかた

準備

プリント

機能設定

トラブル

その他

プリントのしかた (基本編)

■ 連続プリントのしかた

プリント前に希望の枚数を設定しておく、メモリーした画面を指定枚数分連続プリントすることができます。また、連続プリントは中断することができます。

① PRINT Q'ty ▲、▼ ボタンを押して、連続プリントしたい枚数を設定します。

液晶ディスプレイの右上にプリント枚数が表示されます。

枚数はPRINT Q'ty ▲ ボタンを押すと増加し、PRINT Q'ty ▼ ボタンを押すと減少します。

設定枚数は、1 2 9 10 20 30 . . . 50
100 200 C 1の順に切り替わります。C にすると、プリント用紙またはインクシートがなくなるまでプリントされます。

プリント枚数

Normal	PRG.1	Q'ty :⑥
AUTO [USER A]		SIG

② PRINT ボタンを押します。

設定した枚数がプリントされます。

連続プリント中は1枚プリントされるごとに、液晶ディスプレイのプリント枚数の表示がカウントダウンされます。連続プリント終了後、設定値は1になります。ただし、設定枚数をCにしたときは、カウントダウンされません。

プリントを中断したいときは：

- ・ 現在のプリントの完了後に中断したいときは、PRINT Q'ty ▲、▼ ボタンを押してください。現在のプリントの終了後、設定枚数が1に戻り、連続プリントがキャンセルされます。
- ・ 現在のプリントが未完了のまま中断したいときは、STOP ボタンを押してください。現在のプリントが未完了のまま排出されます。

プリント途中で枚数を変更したいときは：

- ・ PRINT Q'ty ▲、▼ ボタンを押して連続プリントをキャンセルしてください。処理中のプリントが完了した後、もう一度PRINT Q'ty ▲、▼ ボタンを押して、枚数を設定してください。

お知らせ

黒っぽい画像を連続プリントすると、本機の内部温度が上がり、安全のためプリントが中断されることがあります。このとき、液晶ディスプレイとモニター画面にエラーメッセージ"OVER HEAT"が表示されます。エラーメッセージが消えるまでしばらくお待ちください。温度が下がり、エラーメッセージが消えると、連続プリントが再開されます。

プリントのしかた（応用編）

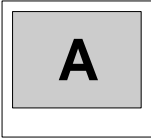
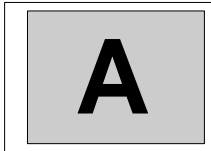
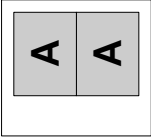
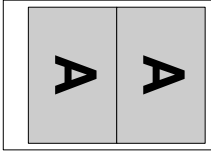
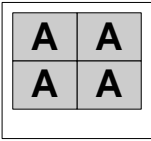
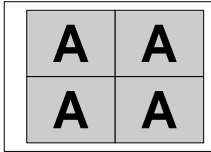
MENU画面(Main MenuとMem SW Main Menu) での設定により、さまざまなタイプのプリントを設定することができます。

ここではおもなプリントの例をあげています。

各種設定項目については、28～31ページをごらんください。

マルチプリント

マルチプリントは1枚のプリント用紙に2、または4画面でのプリントをする機能です。設定は、Main Menuの Multi 画面で行います。設定方法については38ページをごらんください。

画面数 設定	Sサイズプリント	Lサイズプリント
1		
2		
4		

お知らせ

Sサイズのプリント用紙に2画面のプリントをしたときは、コメントプリントの文が欠ける場合がありますので、ご了承ください。

マルチプリントのときは、1画面プリントよりも解像度が落ちます。

セパレートプリント

セパレートは2画面以上の画像の間に白枠を入れる機能です。

設定は、Main Menuの Multi 画面で行います。設定方法については38ページをごらんください。

お知らせ

マルチプリントのセパレート量は画面表示とプリント画では違いがあります。

次ページの表のようなプリントができます。

安全・お願い

各部の名称

接続のしかた

準備

プリント

機能設定

トラブル

その他

画面数 設定	Sサイズプリント		Lサイズプリント	
	セパレートON	セパレートOFF	セパレートON	セパレートOFF
1				
2				
4				

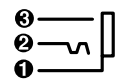
後面外部リモート端子 1

本機後面の外部リモート端子を通してリモート信号を送ることにより、画像のメモリー操作ができます。Mem SW Main Menu の Key Set画面で M & P を ON にすると画像メモリー後プリントができます。

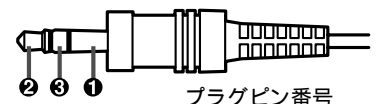
この機能をご利用になる場合は以下を参考に本機外部にリモート信号用の回路を作成してください。

外部リモート端子 1 信号配置 (ステレオジャック)

ピン番号	機能	説明
①	グラウンド	アース
②	MEMORY	メモリー： 信号が HIGH から LOW になるとメモリー画がメモリーされる。(信号を約60 ms以上 LOW にするとメモリー動作する。)
③	BUSY	HIGH： 本機はリモート信号を受け付けない。 LOW： 本機はリモート信号を受け付ける。 この信号は以下の場合にHIGHになる。 電源ONにしたときの初期動作中 入力信号を選択した後の約1秒間 メニュー画面表示中 その他、メモリーできないとき Mem SW Main Menu の System で Busy が L に設定されている場合は上記の HIGH と LOW の関係が逆になります。



本機内部の回路とピン番号



プラグピン番号

BUSY端子をTTLレベルで受ける場合は $| I_{OL} | = 2\text{mA}$ 以下、 $| I_{OH} | = 1\text{mA}$ 以下を守ってください。

なお、 $| I_{OL} |$ はLOW出力の際、本機に流れ込む電流、 $| I_{OH} |$ はHIGH出力の際、本機から流れ出る電流を表します。

後面外部リモート端子 2

本機後面の外部リモート端子を通してリモート信号を送ることにより、メモリー、プリントの操作ができます。

この機能をご利用になる場合は以下を参考に本機外部にリモート信号用の回路を作成してください。

外部リモート端子信号配置 コネクター MINI DIN8PIN

ピン番号	機能	説明
①	グラウンド	アース
②	MEMORY	メモリー： 信号が HIGH から LOW になるとメモリー画がメモリーされる。(信号を約60 ms以上 LOW にするとメモリー動作する。)
③	接続しない(空)	
④	BUSY	HIGH : 本機はリモート信号を受け付けない。 LOW : 本機はリモート信号を受け付ける。 この信号は以下の場合に" HIGH "になる。 電源ONにしたときの初期動作中 入力信号を選択した後の約1秒間 メニュー画面表示中 その他、メモリーできないとき Mem SW Main Menu の System で Busy が L に設定されている場合は上記の HIGH と LOW の関係が逆になります。
⑤	PRINT	プリント： 信号が HIGH から LOW になるとメモリー画がプリントされる。(信号を約60 ms以上 LOW にするとプリント動作する。)
⑥	REMOTE	付属のリモコンと同機能をコントロールする。
⑦	接続しない(空)	
⑧	DC3V	リモコン用電源 DC 1mA MAX

BUSY端子をTTLレベルで受ける場合は $|I_{OL}| = 2\text{mA}$ 以下、 $|I_{OH}| = 1\text{mA}$ 以下を守ってください。

なお、 $|I_{OL}|$ はLOW出力の際、本機に流れ込む電流、 $|I_{OH}|$ はHIGH出力の際、本機から流れ出る電流を表します。

ピン番号 6 REMOTE 端子について

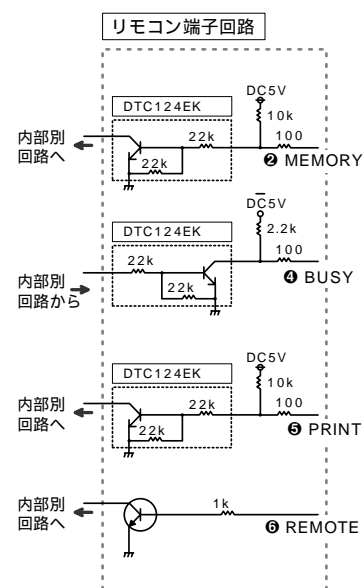
6番ピンから以下のリモコンコードを送ることにより、本機に添付されているワイヤードリモコンの各ボタンと同じ機能が操作できます。

0 1: ◀ボタン	0 2: ▶ボタン	0 3: ▼ボタン	0 4: ▲ボタン
0 8: PRINT Q'ty▲ボタン	0 9		
0 A*: MENUボタン	0 B*: CLEARボタン	0 C: PRINT Q'ty ▼ボタン	
0 D	0 E*: SETボタン	0 F*: STOPボタン	
1 2*: PROGRAMボタン	1 3*: PRINTボタン	1 5*: FRAME / FIELDボタン	
1 6*: COLOR ADJボタン	1 7*: MEMORYボタン	1 8*: DISPLAYボタン	
1 C*: MEMORY PAGEボタン	1 D*: MONITORボタン		

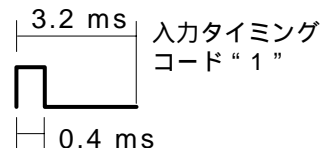
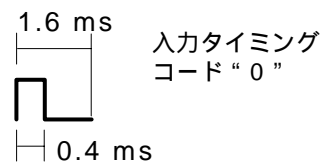
*印のコードは5WORD送られます。

信号レベルとタイミング

入力信号レベル : TTLレベル
入カタイミング : 1WORD 38.4 ms



本機内部の回路(参考)



例 プリントコード
= 13 = 0 1 0 0 1 1

安全・お願い

各部の名称

接続のしかた

準備

プリント

機能設定

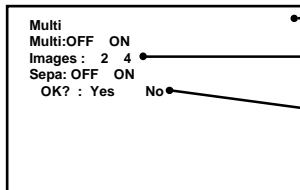
トラブル

その他

機能設定 (メニュー画面チャート)

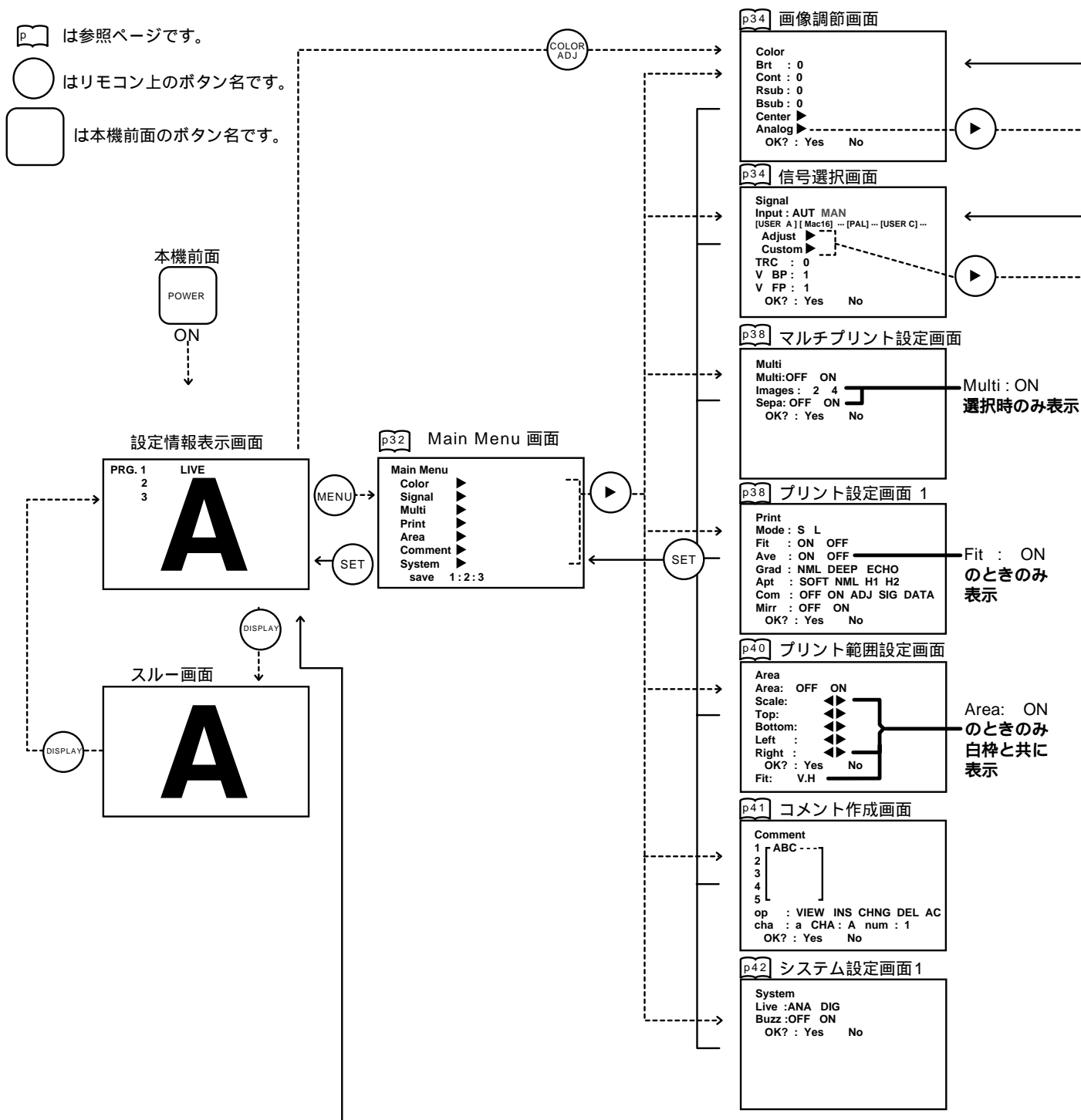
モニター画面チャート

■ 操作説明



モニター画面
メニューは▲、▼ボタンで選択します。
数値変更、モード選択、スイッチ切換は◀、▶ボタンを押します。

p は参照ページです。
○ はリモコン上のボタン名です。
□ は本機前面のボタン名です。



p34 アナログ画像調節画面

```

AnaColor
Brt : 0
Cont : 0
Rsub : 0
Bsub : 0
Center ▶
OK? : Yes No
  
```

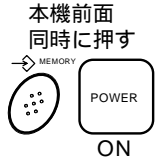
SET

p36 カスタム画像調節画面

```

SigCustom
Hwid : 864
Hdot : ◀▶
Vdot : ◀▶
640 X 480
Hposi : 143
Vposi : 41
save : A B C
  
```

SET



p43 Memory SW Main Menu 画面

```

MemSWMenu
Key ▶
Signal ▶
Print ▶
System ▶
Extend ▶
Mem : SAVE CNCL INIT
  
```

SAVEまたはINIT
を選択後

SET

p44 ボタン機能設定画面

```

KeySet
Lock : OFF ON
M&P : OFF ON
MonMode : A B C
P&C : OFF ON
OK? : Yes No
  
```

p45 信号設定画面

```

Sig Adj
AFC : OFF ON
IN : 0.3 TTLSOG
CLMP : AUTO NML SYNC
FIELD : NML REV
VOFST : 0
OK? : Yes No
  
```

p46 プリント設定画面 2

```

PrintSet
Dir : NML REV
MCut : OFF ON
Gamma Adj
a : X = 64
  : Y =
  :
c : Y =
Init ▶
OK? : Yes No
  
```

p47 システム設定画面 2

```

SystemSet
Init : OFF ON
Busy : H L
Remain : -- 0-10
OK? : Yes No
  
```

p48 機能拡張画面

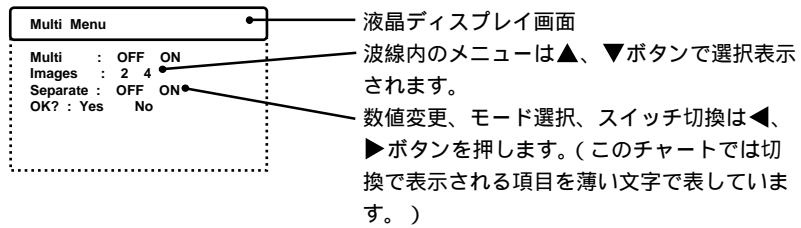
```

ExtendSet
Paper : TML COL
A-Cut : ON OFF
OK? : Yes No
  
```

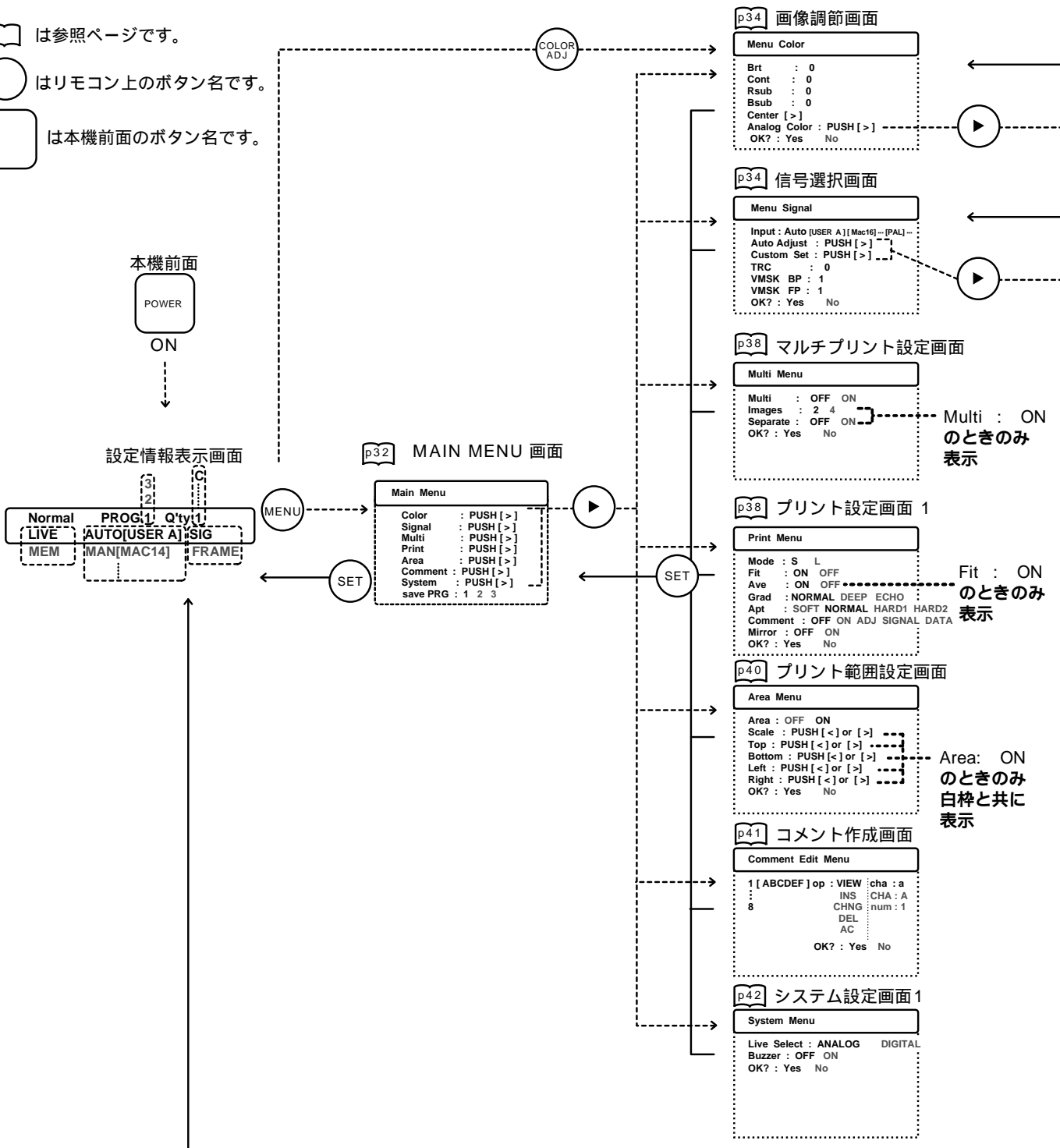
設定情報表示画面へ
(前ページ左側)

液晶ディスプレイチャート

■ 操作説明



- は参照ページです。
- はリモコン上のボタン名です。
- は本機前面のボタン名です。



p34 アナログ画像調節画面

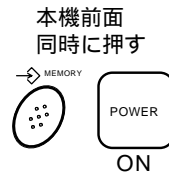
Menu Analog Color

Brnt : 0
Cont : 0
Rsub : 0
Bsub : 0
Center [>]
OK? : Yes No

p36 カスタム画像調節画面

Signal Custom Menu

H-Width : 1120
H-Dots : 1024
V-Dots : 768
H-Posi : 120
V-Posi : 35
save : A B C Cancel



p43 MEMORY SW MENU 画面

Memory SW Main Menu

Key Set : PUSH [>]
Signal Adj : PUSH [>]
Print Set : PUSH [>]
System Set : PUSH [>]
Extend Set : PUSH [>]
Memory : SAVE
CANCEL
INIT

SAVEまたはINIT
を選択後

p44 ボタン機能設定画面

KeySet Menu

Key Lock : OFF ON
Memory & Print : OFF ON
Monitor Mode : A B C
Print & Clear : OFF ON
OK? : Yes No

p45 信号設定画面

Signal Adj Menu

AFC : OFF ON
IN : TTL SOG 0.3V
Clamp : AUTO NORMAL SYNC
Field : NORMAL REVERSE
V Offset : -10
OK? : Yes No

p46 プリント設定画面 2

Print Set Menu

Print Dir : Normal Reverse
Margin Cut : OFF ON
Echo Gamma a : X=64 ... a:Y=64
... b:X= ... b:X=
... c:Y= ... Init [>]
OK? : Yes No

p47 システム設定画面 2

System Set Menu

PRG All Init : OFF ON
Rear Remote Busy : H L
Remaining : OFF 0 -10
OK? : Yes No

p48 機能拡張画面

Extend Set Menu

PAPER : COLOR THERMAL
AUTO CUT : OFF ON
OK? : Yes No

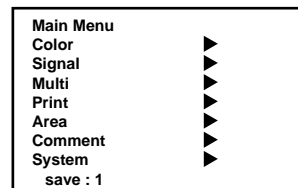
設定情報表示画面へ
(前ページ左側)

機能設定 (Main Menu)

Main Menu の表示項目

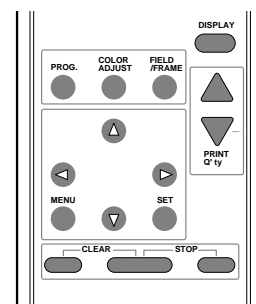
Main Menu画面は設定項目を開く画面です。以下のColor から Systemまでの設定項目で機能を設定します。設定内容はsave で保存できます。

Color	プリント画像の色調節
Signal	入力信号のタイミング・トラッキング・信号のマスク設定
Multi	マルチプリントの設定・プリント余白設定
Print	用紙サイズ・拡大プリント・画素補間・ガンマ選択・輪郭補正・コメントプリント方法の設定・ミラープリント等
Area	プリント範囲の設定
Comment	コメント文の作成
System	入力信号のモニター表示ルート of 切替・ブザーの設定
save	上記の設定内容を1～3の3種類のメモリーに記憶する



メニューの選択と設定

メニューの表示、機能の選択、設定には、リモコンのボタンを使います。



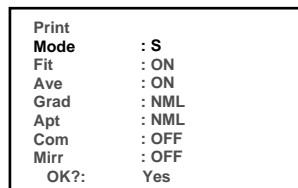
1 MENUボタンを押して、Main Menu 画面を表示させます。

2 ▲、▼ボタンを押して、設定項目を選びます。

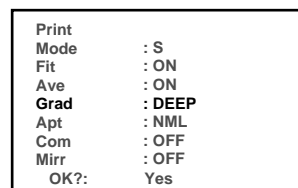


例 Print画面を選択

3 ▶ ボタンを押して、それぞれの項目での調整画面を表示させます。



4 ▲、▼ボタンを押して、設定項目を選びます。



5 ◀、▶ ボタンを押して、設定項目を選ぶか、数値変更をします。

```
Print
Mode   : S
Fit     : ON
Ave     : ON
Grad  : DEEP
Apt     : NML
Com     : OFF
Mirr    : OFF
OK?:    Yes
```

安全・お願い

6 SETボタンを押します。

OK? : Yes が選択されます。

設定をやり直す場合は ▶ ボタンを押して No を選択すると、元の画面に戻ります。

```
Print
Mode   : S
Fit     : ON
Ave     : ON
Grad   : DEEP
Apt     : NML
Com     : OFF
Mirr    : OFF
OK?:    Yes
```

各部の名称

7 Yes を選択して、SETボタンを押します。

機能が設定され、Main Menu画面に戻ります。

接続のしかた

8 SETボタンを押します。save が選択されます。

```
Main Menu
Color      ▶▶▶
Signal     ▶▶▶
Multi      ▶▶▶
Print      ▶▶▶
Area       ▶▶▶
Comment    ▶▶▶
System     ▶▶▶
save : 1
```

準備

9 ◀、▶ ボタンを押して、記憶させるメモリーバンクの記号1、2、または3を選びます。

1 にすでにメモリーされており、新たな入力信号のときは 2 が選択されています。

プリント

10 SETボタンを押します。

選択したプログラム番号のバンクに設定内容が記憶されます。情報表示画面またはスルー画面に戻ります。

機能設定

プログラムは上書き記憶されますので、9 で選択したプログラムの番号の記憶は消去され、書き直されます。残しておきたいプログラム番号は選択しないでください。

記憶したメモリー1～3 はPROGボタンを押すと 選択され、各設定に従った画面が表示されます。ただし、プリント中は変更できません。また Comment 画面と、System 画面での設定は、1 種類のみしか記憶されません。

選択したメモリープログラムに従ったプリントができます。

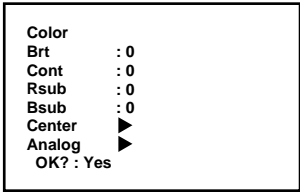
トラブル

その他

Color 画像調節画面

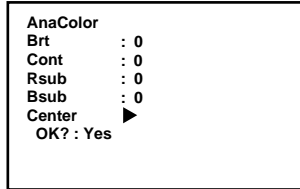
モニターしている画像またはメモリーした画像を調節する画面です。
リモコンのCOLOR ADJ ボタンを押しても表示されます。

- Brnt (Bright) 画像の明るさを調節します。
- Cont (Contrast) 画像のコントラストを調節します。
- Rsub 画像赤色の濃さを調節します。▶ボタンで赤色の濃さが増し、◀ボタンで青緑色の濃さが増します。
- Bsub 画像の青色の濃さを調整します。▶ボタンで青色の濃さが増し、◀ボタンで黄色の濃さが増します。
- Center Color 画面での各設定値を初期状態に戻します。
▶ボタンを押すと、Brnt, Cont, Rsub, Bsubの設定値が0に戻ります。
- Analog アナログ信号プリントの画像調整メニューに移行します。
▶ボタンを押すと、AnaColor 画面が表示されます。



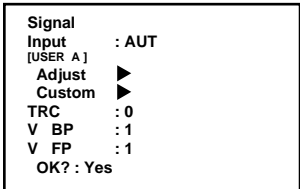
■ AnaColor アナログ画像調節画面

メモリーする前の画像を調節する画面です。
このメニュー画面はColor のAnalogから▶ボタンを押すと開きます。
この画面下部の OK ? でYesを選択し、SETボタンを押すと、Color 画面に戻ります。



Signal 信号選択画面

- Input 本機後面の入力端子からの信号タイミングを選択します。
- AUT (Auto) 本機の入力信号に最も近い信号を本機の内部に持っているタイミングから自動選択します。
- MAN (Manual) 本機後面の入力端子からの信号を選択します。
選択肢はMAC14, MAC 16, VGA 480, VGA 400, VGA 350, 48K800, 35K800, 48K1024, 35K1024, 98-24K, 98-32KI, H98-31K, NTSC-nl, NTSC, PALの15種類です。
また、任意に設定した信号タイミングを3種類記憶できます。
信号切換時はモニター画面が乱れることがあります。

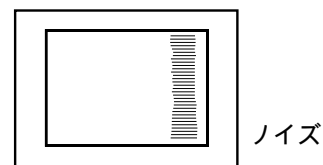


Adjust Input : AUTで選択された信号タイミングではプリント画像にズレや歪みが生じるとき、入力信号に合ったタイミングに自動調整します。
 ▶ボタンを押すと、SigCustom画面が表示されます。
 (36ページ参照)
 この機能は、Input : AUT 選択時のみ表示されます。
 Input で AUT を選択したときは、このメニューでの微調整をお奨めします。

お知らせ

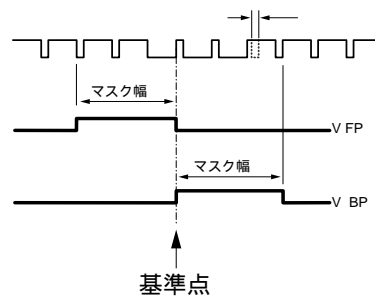
この機能は画面上の黒から黒ではなくなる部分を探して、タイミングを自動調整していますので、黒っぽい部分が多い画像を入力しているときは正しく機能しないことがあります。黒い部分が少ない画像をモニターに表示してから、この機能をご利用ください。

Custom 本機で設定されているプリント画像の範囲などを変更しUSER設定として、記憶できます。
 ▶ボタンを押すと、SigCustom画面が表示されます。
 (36ページ参照)
 TRC (Tracking) ドットクロックの位相を変化させることにより、トラッキング調整を行います。
 H-WIDTHの調整後にノイズが残るときは調整してください。
 数値は0~255まで設定可能です。
 (37ページ "H-WidthとTRCについて" 参照)
 V BP (Back Porch Mask) 入力信号の非連続部分にマスクをかけます。("V BPとV FPについて" 参照)
 V FP (Front Porch Mask) 入力信号の非連続部分にマスクをかけます。("V BPとV FPについて" 参照)



■ V BP とV FP について

コンポジットSYNCまたは SYNC on GREEN 信号において、信号の形状により、水平同期信号が非連続となることがあります。このとき画像の上部に曲がりが生じることがあります。V BP、V FP は、入力信号の非連続部分にマスクをかけ、上部の曲がりを防ぐ機能です。
 モニター画面を見ながら、マスク幅 (1~25) を変更して、モニター画像の上部曲がりを解消する数値を選択します。



1 "V BP" の数値を変更します。

設定値を 1 から順に大きくし、上部曲がり解消された時点での数値を設定値とします。設定値は最小を選んでください。(例：2 でも 3 でも上部曲がり解消するときは 2 を選択)
 設定値が 25 になっても上部曲がり解消しないときは、設定値を 1 に戻して "V FP" の数値を変更してください。

2 "V FP" の数値を変更します。

設定値を 1 から順に大きくし、上部曲がり解消された時点での数値を設定値とします。設定値は最小を選んでください。

安全・お願い

各部の名称

接続のしかた

準備

プリント

機能設定

トラブル

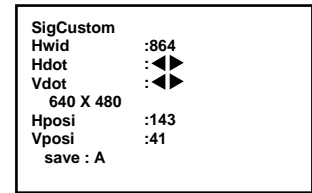
その他

■ SigCustom カスタム画像調節画面

本機で設定されているプリント画像の範囲などを変更して記憶できます。
このメニュー画面はSignalのAdjustまたはCustomから▶ボタンを押すと開きます。

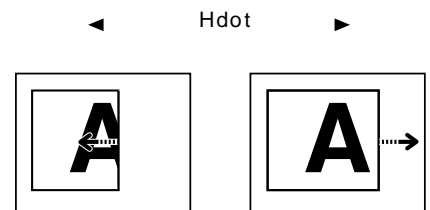
各設定値はおおむね以下の式に収まる範囲内で変更できます。

$$\begin{aligned} & \text{Hwid} \quad \text{Hdot} + \text{Hposi} \\ & \text{Line数} \quad \text{Vdot} + \text{Vposi} \\ & 1 \times 10^6 \quad \text{Hdot} \times \text{Vdot} \end{aligned}$$

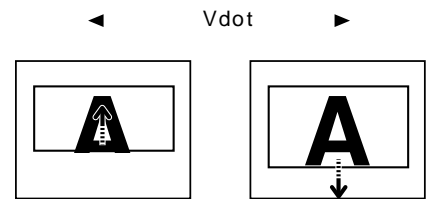


Hwid (H-WIDTH) 画像の水平の幅を設定します。(次ページ "H-WidthとTRCについて"参照)

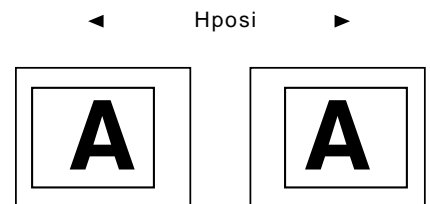
Hdot 画像の水平画素数を設定し、画像をメモリーする範囲の横幅を調節します。
モニター画面の右端を見て画像が切れないように設定します。
1水平走査期間あたりの表示期間を1ドットクロック単位で設定します。H-WIDTHの設定数値の変更に伴い、画像の表示幅も変わります。



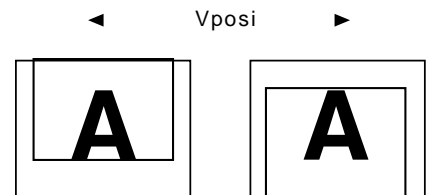
Vdot 画像の垂直画素数を設定し、画像をメモリーする範囲の縦幅を調節します。
モニター画面の下端を見ながら画像が切れないように設定します。



Hposi 入力信号の水平スタート位置を設定し、画像をメモリーする範囲の左右位置を調節します。
水平同期信号の後縁から水平表示開始点までの間隔を1ドットクロック単位で設定します。
数値変更により、取込み画像全体を左右に移動できます。



Vposi 入力信号の垂直スタート位置を変更する。
垂直同期信号の後縁から垂直表示開始点までの間隔をライン単位で設定します。数値変更により、取込み画像全体を上下に移動できます。
モニター画面の上端を見ながら画像が切れないように設定します。



お知らせ

Hwid, Hdot, Vdot, Hposi, Vposi の設定可能範囲は入力信号により異なります。

■ H-WIDTHとTRC について

パソコンなどと接続する場合は、入力信号のドットクロックが決まっているのでH-WIDTHを入力信号に合わせる必要があります。今、入力信号にパソコンの1ドットおきに白黒の縦縞の信号が入力されたとすると1のように入力信号の1ドットと同じ間隔でサンプリングした場合、入力信号と同じ白黒のパターンでサンプリングされます。

2のように入力信号の1ドットよりも長い間隔でサンプリングした場合や3のように短い間隔でサンプリングした場合は、白黒が交互にならず、白白や黒黒のパターンが表れます。これがビート干渉縞で、これをなくすためにサンプリング周期を変化させ、ドットクロックと同一にする必要があります。

このサンプリング周期を変化させるのがH-WIDTHです。

2の場合：サンプリング周期が遅いのでH-WIDTHを大きくして間隔を短くします。

3の場合：サンプリング周期が速いのでH-WIDTHを小さくして間隔を長くします。

設定例)

水平周波数 24 kHz

映像期間 35 μs

水平映像ドット数 640ドット の場合

映像の1ドット間隔 : $35/640 \mu s = \text{約}0.05469 \mu s$

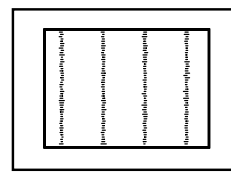
1水平期間の時間 : $1/24 \times 10^3 \mu s = \text{約}41.666 \mu s$

1水平期間の総ドット数 : $1/24 \times 10^3 \div 35/640 \mu s = \text{約}762$

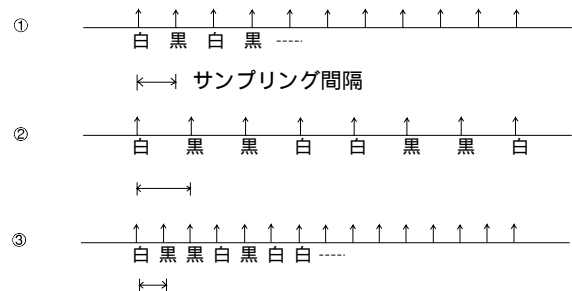
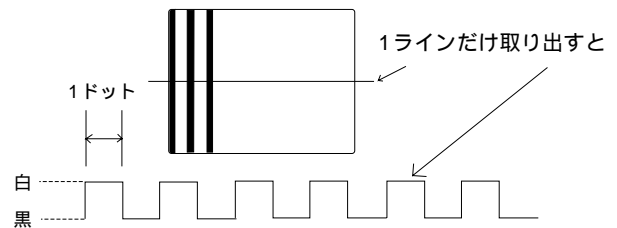
・ H-WIDTHは、なるべく以下の範囲で設定してください。

$$H\text{-WIDTH} \leq 68 \times 10^6 / f_H$$

また、入力信号のドットクロックとサンプリング周期が同一であっても1ドットうちのサンプリング点によっては正確にサンプリングできない場合があります。この場合、サンプリング点を変化させるためにTRC調整を行ってください。



ビート干渉縞が4本のときはH-WIDTH 4ドット分のズレがあります。



安全・お願い

各部の名称

接続のしかた

準備

プリント

機能設定

トラブル

その他

Multi マルチプリント設定画面

Multi	1枚のプリント用紙に、2または4画面のプリントをするための機能のON、OFFを選択します。
ON	マルチプリント機能 有効
OFF	マルチプリント機能 無効
Images	Multi を ON にすると表示されます。
2	2画面プリント
4	4画面プリント
Sepα (Separate)	Multi を ON にすると表示されます。
OFF	マルチプリントの各画面を白枠で区切らない
ON	マルチプリントの各画面を白枠で区切る

```
Multi      : ON
Multi      : ON
Images     : 4
Sepa       : OFF
OK?       : Yes
```

Print プリント設定画面 1

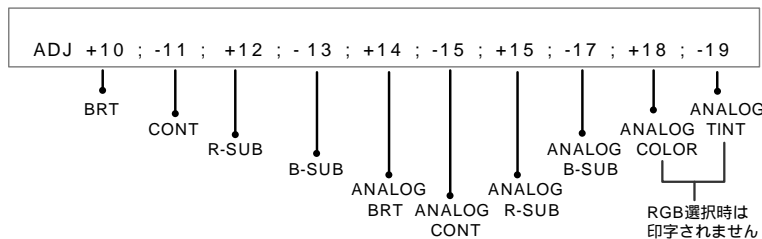
Mode	用紙サイズを決定します。 通常は本機に装着した用紙サイズを選択します。 Lサイズやモノクロのインクシートの場合はSを選択するとSサイズでのプリントができます。(用紙の詳細は 15, 25ページ参照)
S	Sサイズのインクシート
L	Lサイズのインクシート
Fit	プリント範囲内に最大にプリントするかどうかを選択します。
ON	用紙の可能範囲いっぱい拡大または縮小してプリント
OFF	通常プリント
	拡大率は0.25から4までの0.25単位の値になります。
Ave(Average)	プリント画像のドット間に両側のドットの平均濃度のドットを補う(画素補間する)かどうかを選択します。
ON	画素補間する
OFF	画素補間しない
Grad (Gradation)	画像のガンマ曲線を変更できます。 3種類のガンマ設定から1つを選択します。
NML	通常
DEEP	濃い
ECHO	医用機器等に合ったガンマ曲線。
	ECHOで設定されているガンマ値をさらに変更したい場合はMem SW Main MenuのPrintSet画面のGamma Adjでガンマ曲線を修正します。(46ページ参照)

```
Print      : S
Mode       : ON
Fit        : ON
Ave        : DEEP
Grad       : NML
Apt        : OFF
Com        : OFF
Mirr       : OFF
OK?       : Yes
```

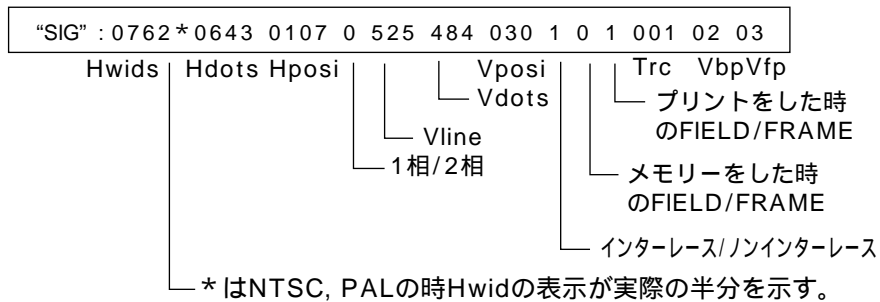
- Apt (Aperture) 画像の輪郭調節をします。
 SOFT 輪郭をソフトにする
 NML 輪郭調節しない
 H1 (HARD 1) 輪郭を強くする
 H2 (HARD 2) 輪郭をさらに強くする

- Com (Comment) プリント用紙に表示するコメントを選択します。
 OFF コメントを印字しない
 ON 作成したコメントを印字
 ADJ Color 画面で設定した数値を印字

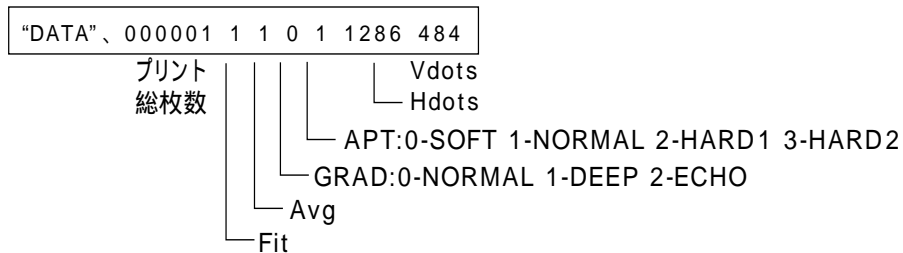
記載内容は以下の通りです。



- SIG Signal画面とSigCustom画面で設定した数値を印字
 記載内容は以下の通りです。



- DATA 総プリント枚数、Grad、Apt、HRS、VRSを印字
 記載内容は以下の通りです。



Multi 画面の Multi の設定が ON で2、または4画面を選択しているときは ADJ、SIG と DATA は最後にメモリーされた画像のデータがプリントされます。

- Mirr (Mirror) メモリーした画像を左右反転してプリントするかどうかを選択します。
 OFF 左右反転しない
 ON 左右反転する

安全・お願い
 各部の名称
 接続のしかた
 準備
 プリント
 機能設定
 トラブル
 その他

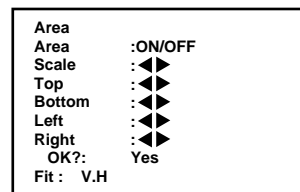
Area プリント範囲設定画面

AREA 画像のプリント範囲を設定します。ON にすると、プリント範囲を示す白枠が画面に表示され、Scale以下の項目が表示されます。▲、▼、◀、▶ボタンで白枠の大きさを調整します。白枠は、画像サイズを超えて移動できません。

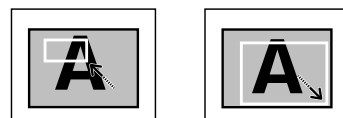
OFF 全体をプリントする

ON 白枠で表示された範囲をプリントする

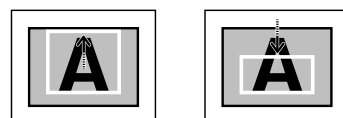
Scale 枠の左上を原点に、プリント枠の拡大・縮小を行う
下辺と右辺を同時に2 ドット分ずつ移動する



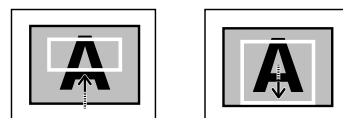
◀ SCALE ▶



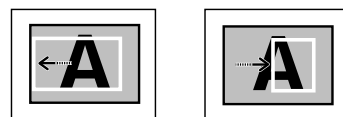
◀ TOP ▶



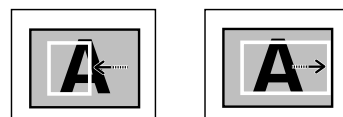
◀ BOTTOM ▶



◀ LEFT ▶



◀ RIGHT ▶



Top プリント枠上辺を上下に移動

Bottom プリント枠下辺を上下に移動

Left プリント枠左辺を左右に移動

Right プリント枠右辺を左右に移動

Fit プリント範囲内での画像のプリントサイズを設定します。

H,Vが点滅 プリント範囲いっぱいプリントする。

H,Vが点滅しない プリント範囲よりもう少し小さくプリントする。

- ・Fitプリントできる場合は、H、Vの文字が赤く点滅します。
- ・H(画面の水平方向)またはV(画面の垂直方向)のいずれか一方だけが点滅している場合は、点滅している方がプリント範囲いっぱいプリントされ、もう一方はほぼ縦横比を保ったサイズでプリントされます。

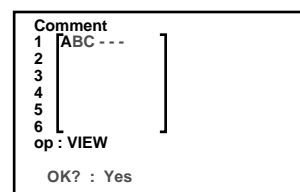
Comment コメント作成画面

コメント文を作成します。

コメント画面は4つのブロックに分かれています。

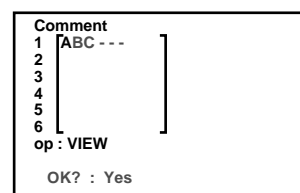
MENUボタンを押すたびに選択ブロックが切り替わります。

- ① コメント表示 入力した文字が表示されます。▲、▼、◀、▶ボタンでカーソルを文字を書き込みたい位置に移動させます。
- ② op (編集モード) 文字の編集方法を選択します。
MENUボタンを押す度に切り替わります。
VIEW 文字の入力位置を移動させたいときに使用するモードです。
INS (Insert) 文字を挿入します。
CHNG 選択中の文字を変更します。
DEL (Delete) 選択中の文字を削除します。
AC (Allclear) 全文消去します。
入力切換はMENUボタンでコメント作成中にも行えます。
- ③ 文字入力 入力する文字の種類を選択します。▼ボタンを押す度に種類が切り替わります。選択した種類の文字がop : の次の行に表示されるので、◀、▶ボタンで入力する文字を選択します。
cha 英語小文字と空白 (abcdefghijklmnopqrstuvwxyz)
CHA 英語大文字と空白(ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ)
num 数字・記号 (0123456789 + - * / , ; : ?)
- ④ OK ? 設定したコメントを確定します。
Yes 確定する
No 確定せずに入力や変更を続行する



■ コメント文の作成

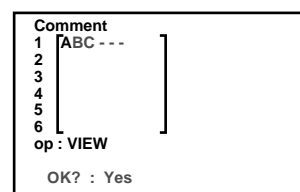
- ① op(編集モード選択)を "VIEW" にします。
MENUボタンを使います。



- ② 文字を入力する位置を決めます。

▲ボタンでコメント表示ブロックを選択し、▲、▼、◀、▶ボタンで文字を入力する位置までカーソルを移動させます。

選択されている文字位置が緑色で表示されます。



安全・お願い

各部の名称

接続のしかた

準備

プリント

機能設定

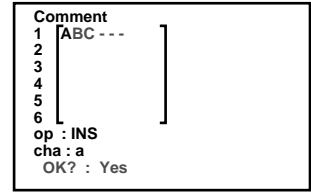
トラブル

その他

3 op(編集モード選択)で "INS" を選択します。

MENUボタンを使います。

すでに入力されている文字を変更したいときは、"CHNG" を選択します。

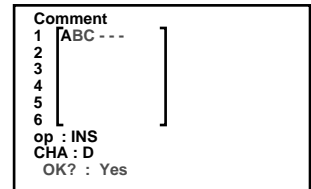


4 文字入力のブロックで入力する文字を選びます。

▼ボタンを押して、文字の種類を選びます。

選択した種類の文字がop: の次の行に表示されるので、◀、▶ボタンで入力する文字を選択します。

選択されている文字位置が緑色で表示されます。

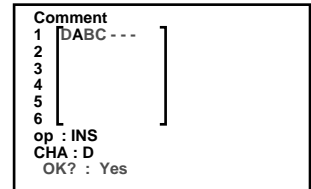


5 ▲ボタンを押します。

コメント表示の文字位置が1つ右に移動し、文字が入力されます。

6 以後、同様に1 ~ 5の手順を繰り返して文を作成します。

- ・ 文字の入力位置が選択されている位置のままのときは手順の1 ~ 2を省きます。
- ・ 文字の削除・全文消去のときは手順の4を省きます。
- ・ 本画面での設定は、save でどの記号を選択しても、1 ~ 3 のすべてに同じ内容が選択されます。各プログラムに違った設定を記憶することはできません。



System システム設定画面 1

Live (Live Select)入力信号のモニター表示ルート of 切替を行います。

入力した信号をそのままモニター画面に表示するか、本機での画像・画質調節を反映してモニター表示するかを選択します。

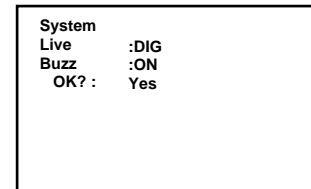
ANA (Analog) そのままモニターに表示

DIG (Digital) 本機での画像・画質調節を反映して表示

Buzz (Buzzer) 本機やリモコンのボタンを押すと、入力完了確認音が鳴ります。

ON ブザーを鳴らす

OFF ブザーを鳴らさない



本画面での設定は、save でどの記号を選択しても、1 ~ 3 のすべてに同じ内容が選択されます。各プログラムに違った設定を記憶することはできません。

機能設定 (Mem SW Main Menu)

Mem SW Main Menu の表示項目

Key	ボタン機能の設定・プリント後のメモリー消去機能の設定
Signal	自動水平周波数調整・入力信号レベル設定・信号クランプ・信号フィールド反転
Print	プリント方向・速度・用紙裁断・ガンマ値
System	全設定値初期化・リモート信号選択・プリント用紙が少なくなったときのブザー設定
Extend	プリント用紙の種類・オートカット
Mem	上記の設定を 完了・キャンセル・初期化

Mem SW Main Menu の操作

1 本機の電源が切れている状態で、本機前面のMEMORYボタンを押しながらPOWERボタンを押し、MemSWMenu 画面を表示させます。当画面が表示される前に本機が作動しますが、画面が表示されるまで、ボタンを押し続けてください。画面が表示されるまでにかかる時間は、メモリーした内容によって異なります。

2 リモコンの▲、▼ボタンを押して、設定項目を選びます。

3 ▶ ボタンを押して、それぞれの項目での調整画面を表示させます。

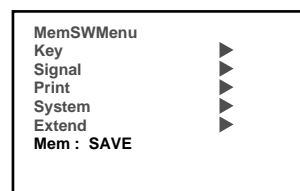
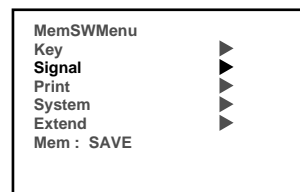
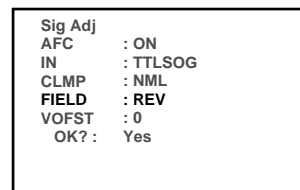
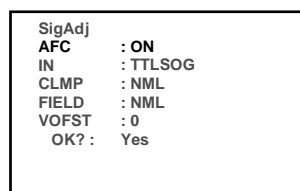
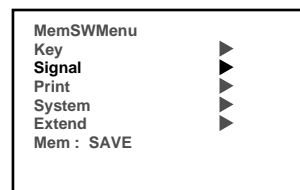
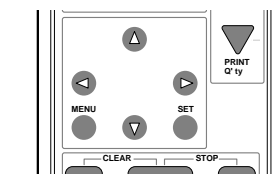
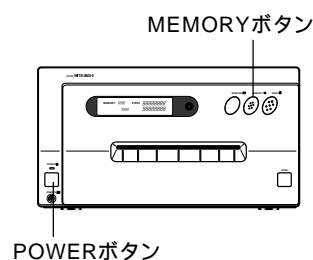
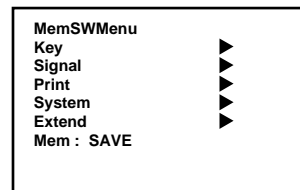
4 ▲、▼ボタンを押して、設定項目を選びます。

5 ◀、▶ ボタンを押して、設定項目を選ぶか、数値変更をします。

6 SETボタンを押します。
OK? Yesが選択されます。

7 Yesを選択して、SETボタンを押します。
機能が設定され、MemSWMenuに戻ります。

8 SETボタンを押します。
Memが選択されます。



安全・お願い

各部の名称

接続のしかた

準備

プリント

機能設定

トラブル

その他

機能設定 (Mem SW Main Menu)

9 ◀、▶ ボタンを押して、SAVE、CNCL(CANCEL)またはINITを選びます。

- SAVE 設定内容を確定して、通常画面に戻る。
- CNCL 設定をキャンセルして、通常画面に戻る。
- INIT Mem SW Main Menu での設定内容を全て初期化し、通常画面に戻る。

10 SAVE を選択して、SETボタンを押します。

機能が設定され、通常画面に戻ります。

KeySet ボタン機能設定画面

- Lock 電源以外の本体やリモコンのボタンを無効にします。
- ON MEMORY、PRINT、MONITOR、MEMORY PAGE 以外のリモコンボタンを無効にする
 - OFF リモコンボタンを全て有効にする

M&P (Memory and Print)

MEMORYボタンを押すと、画面上の画像をメモリーした後自動的にプリントするように設定します。

- ON メモリーすると自動的にプリントする
- OFF メモリーボタンはメモリーのみ行う

Mon Mode (Monitor Mode)

メモリー時とメモリーした後のモニター画面の表示を切換えます。

- A スルー画を表示
- B メモリー画を1秒間表示してから、スルー画を表示
- C メモリー画を表示

P&C (Print and Clear)

- ON プリントした画像のメモリーが消去される。
連続プリントのときは、連続したすべての画像のプリントが終了してから、メモリーが消去されます。
- OFF プリントした画像のメモリーは消去されない。

KeySet	
Lock	: OFF
M&P	: OFF
MonMode	: A
P&C	: OFF
OK? :	Yes

Sig Adj 信号設定画面

AFC	<p>自動水平周波数設定機能</p> <p>NTSCまたはPALタイミング信号を入力しているときはONにします。</p> <p>特殊な信号によっては、ONにすると画像の上部が曲がる場合があります。このときはOFFを選択します。</p> <p>この機能は、NTSCまたはPAL信号入力時のみ有効です。</p>
ON	AFC有効
OFF	AFC無効
IN	同期信号の入力の形態を選択します。
0.3V	0.3 V(p-p)レベルのコンポジット同期信号
TTL,SOG	TTLレベルのコンポジット同期信号, SYNC ON Green信号またはセパレート同期信号
CLMP(Clamp)	<p>信号 CLAMP の形態を選択します。</p> <p>通常は "AUTO" を選択します。セパレート SYNC またはコンポジット SYNC と SYNC ON GREEN を同時に入力しているときは "NML" の選択をお奨めします。モニター画面が白っぽいときは、"NML" と "SYNC" を切り替えて、画面が黒くなるほうを選択します。</p>
AUTO	入力信号に応じてクランプを自動選択する
NML(Normal)	ペDESTALクランプ
SYNC	SYNC クランプ
FIELD	<p>プリント画像のフィールドの偶数、奇数を反転します。</p> <p>インターレースしている入力信号によっては、奇数、偶数のフィールドが逆になり、プリント画像が乱れることがあります。この場合には "REV" に設定してください。(モニター画面では画像の乱れは確認できません。また、ノンインターレース信号時は機能しません。)</p>
NML(Normal)	入力信号のまま、フィールド反転しない
REV(Reverse)	奇数、偶数フィールドを反転する
VOFST (V offset)	画面がぶれたり、正しく表示されないとき、正しく表示されるまで数値を変更します。

Sig Adj	: ON
AFC	: TTL SOG
IN	: NML
CLMP	: NML
FIELD	: NML
VOFST	: 0
OK?	: Yes

安全・お願い

各部の名称

接続のしかた

準備

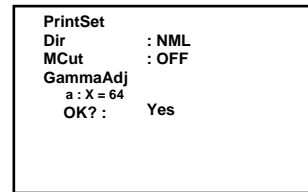
プリント

機能設定

トラブル

その他

PrintSet プリント設定画面 2

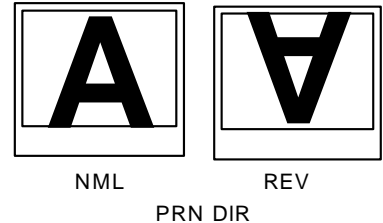


Dir (Print Direction)

プリント方向を選択します。

この機能はSサイズ用紙のプリントに有効です。

- NML(Normal) 余白の広い部分が下になるようにプリント
- REV (Reverse) 余白の広い部分が上になるようにプリント



MCut (Margin Cut) プリント用紙の余白部分が短くなるよう裁断されます。この機能はカルテへの張付けなど、データ整理のときに便利です。図はSサイズのプリント用紙の場合です。

- ON プリント用紙の余白部分が短くなる。
- OFF プリント用紙の余白部分を残す。



GammaAdj

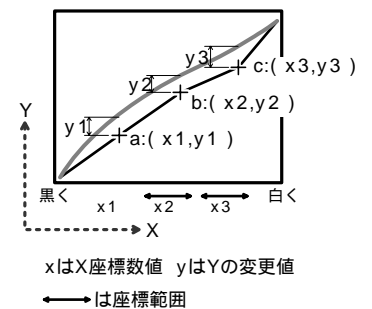
ECHO のガンマ値を変更します。GAMMA曲線上の3点a, b, cの変更値を設定します。

Main Menu の Print 画面の Grad で ECHO を選択すると、医療機器用のガンマ曲線が設定されますが、設定されている曲線では対応できない場合には、このメニューで接続機器にあった曲線を設定します。設定した値はECHOの値として、反映されます。

xはy方向に移動させる曲線上のi点の位置、yは移動量を入力します。a, b, cいずれかのyを移動するとGAMMA曲線全体が変化します。3点の移動範囲は限定されています。

- a (x座標数値, y変更値)..... 画像の暗い部分が
ay +: 明るくなる -: 暗くなる
- b (x座標数値, y変更値)..... 画像全体が
by +: 明るくなる -: 暗くなる
- c (x座標数値, y変更値)..... 画像の明るい部分が
cy +: 明るくなる -: 暗くなる

	x可能範囲	x初期値	y可能範囲	y初期値
a	+32 ~ +95	+64	-16 ~ +15	0
b	+96 ~ +159	+128	-32 ~ +31	0
c	+160 ~ +223	+192	-16 ~ +15	0



SystemSet システム設定画面 2

Init (Initial)	メモリーした内容をすべて初期状態にします。
ON	プログラムの記憶内容を初期状態にする
OFF	現在の設定のまま
Busy	本機後面の外部リモート端子 1、2 の BUSY 出力方法を選択します。
H (HIGH)	期間中はリモート信号を確認できない。
L (LOW)	期間中はリモート信号を確認できない。
	工場出荷時は H に設定されています。

Remain	プリント用紙の残りが少なくなったとき、ブザーで知らせます。
- -	ブザーがならない
0 ~ 10	プリント終了後、プリント枚数が残り 0 枚 ~ 10 枚になるとブザーがなる(1枚単位で設定可能)
	以後、プリントすることにブザーがなります。

紙づまりなどが起こった場合は、設定したとおりにブザーがならないことがあります。この機能を使う場合は、次のことにご注意ください。

インクシートやプリントサイズ設定(Sサイズ/Lサイズ)を途中で交換しない。
 インクシートやプリント用紙を交換する場合は、必ずプリント用紙とインクシートを同時に交換する。(交換後は必ず初期化動作(MONITORボタンを押さえたまま、MEMORY ボタンを1秒以上押す)をしてください。)
 交換するインクシートやプリント用紙は必ず新品を使う。

```
SystemSet
Init      : OFF
Busy     : H
Remain   : --
OK?     : Yes
```

安全・お願い

各部の名称

接続のしかた

準備

プリント

機能設定

トラブル

その他

ExtendSet 機能拡張画面

Paper 使用する紙の種類を選択します。

COL カラープリント用プリント用紙

TML モノクロプリント用感熱紙

実際に装着されている紙の種類とインクシートの有無、およびメニューの選択の状態の組み合わせによっては、正常にプリントできないことがあります。くわしくは下の表をごらんください。

A-CUT 感熱紙を選択しているとき、プリントされた紙を自動的にカットするかどうかを設定します。

ON 自動的にカットする

OFF カットしない

プリント用紙をカットするには、モニターボタンを押しながら、メモリーボタンを押してください。

"Paper"で"TML"が選択され、"A-CUT"が"OFF"に設定されている場合はペーパーセーブモードになります。プリント画間の余白が少なくなるため、プリント画は排紙口から完全には見えません。

```
ExtendSet
Paper      : TML
A-CUT     : ON
OK?       : Yes
```

本機の設定、装着した紙の種類とプリント

プリント画質 問題なし
x 正常にプリントできない

紙の種類 インクカセット			カラープリント用紙 (表面保護コーティング)		感熱紙	
			有	無	有	無
メニュー画面での設定						
Paper	A-CUT	MCut				
COL	ON	ON		プリント 不可 (SHEET CARTRIDGE ERROR)	x	プリント 不可 (SHEET CARTRIDGE ERROR)
		OFF			x	
	OFF	ON	*1*2		x *1*2	
		OFF	*2		x *2	
TML	ON	ON	プリント 不可 (SHEET CARTRIDGE ERROR)	x *1	プリント 不可 (SHEET CARTRIDGE ERROR)	*1
		OFF		x		
	OFF	ON		x *1*2		
		OFF		x *2		

*1 メニュー画面で"MCut"を"ON"に設定できますが、実際にはマージンカットされません。

*2 メニュー画面で"A-CUT"を"ON"に設定できますが、プリント用紙はカットされません。このモードを設定してプリントすると、ブザーがなり、プリント用紙はカットされないまま排出されます。

・感熱紙を使用しているときは、PAPER : COL, A-CUT : ON, MCut : ONを選択しないでください。紙づまりをおこす恐れがあります。

エラーメッセージと処置

エラーメッセージ一覧表

本機がプリントできなくなったり、プリント中にエラーが生じた場合はモニター画面や液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示されます。

この場合は下表を参考に処置を行ってください。

エラーメッセージ	原因	処置
DOOR OPEN	プリンティングユニットが完全に押し込まれていない。	プリンティングユニットをカチッと音がするまで押し込んでください。
PAPER EMPTY	プリント用紙が装着されていない。 プリント用紙の装着方法が不完全。 または、プリント中に用紙が終了した。 *注：1	プリント用紙を正しく装着してください。 16～18ページをごらんください。
SHEET CARTRIDGE ERROR	シートカートリッジが装着されていない。	シートカートリッジを装着してください。18ページをごらんください。
OVER HEAT	サーマルヘッドの温度が高くなった。	エラーメッセージが消えるまでしばらくお待ちください。*注：2
SHEET END	インクシートが終了した。	新しいインクシートを装着してください。18～19ページをごらんください。
PAPER JAM J11 PAPER JAM J12 PAPER JAM J13 PAPER JAM J14	紙詰まりが発生した。	紙詰まりの処置52ページをごらんの上、処置してください。
TECHNICAL ERROR J22 TECHNICAL ERROR J23 TECHNICAL ERROR J24	その他のエラー。	MONITOR ボタンを押さえたまま、MEMORY ボタンを1秒以上押してください。*注：3 この処置を1度行っても症状が改善されない場合は、販売店にご相談ください。

*注：1 Lサイズプリントの場合は、プリントを未完了で終了しますので、ご注意ください。

*注：2 連続プリントを設定中の場合は、エラーメッセージが消えた後、継続してプリントを再開します。

*注：3 これは、初期化動作です。必ずMONITORボタンを先に押してください。

■ エラー以外のメッセージ

MECHA INITIALIZE REQUEST	プリント中に電源をOFFにした後に、電源を再投入した場合に表示されます。 MONITORボタンを押さえたまま、MEMORYボタンを1秒以上押してください。 これは、初期化動作です。必ずMONITORボタンを先に押してください。
MECHA INITIALIZE	初期化動作中に表示されます。
PRINT STOP	プリント中に、リモコンのSTOPボタンを押した場合に行われる初期化動作中の表示です。

安全・お願い

各部の名称

接続のしかた

準備

プリント

機能設定

トラブル

その他

修理を依頼する前に

以下のことをお調べになって、それでも不具合があるときは使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買上げの販売店にご連絡ください。

症 状	原 因 / 処 置
電源が入らない	電源プラグがコンセントからはずれていませんか？ 本機のプラグを電源コンセントに差し込んでください。 電源を OFF にして約 2 分間お待ちください。その後電源を ON にしてください。
モニター画面に画像が映らない	SYNC、OUT SYNC、RGB SOG OUT は正しく設定されていますか？ 設定を再確認してください。(13 ~ 14 , 20 ~ 22 ページ参照) 本機に信号が (映像信号および同期信号が) 入力されていますか？ 接続、入力を再確認してください。(13 ~ 14 , 20 ~ 22 ページ参照) 本機メニュー画面での入力信号の選択 Input は接続/入力した各端子と合っていますか？ 再確認してください。(34 ページ参照) メモリー画が表示されたままになっていませんか？ MONITOR ボタンを押して、スルー画面 LIVE に切替えてください。
設定情報表示画面が映らない	Mem SW Main Menu の Sig Adj 画面の IN は入力されている信号に合わせて " 0.3 " または " TTL SOG " が設定されていますか？ 設定を確認してください。(45 ページ参照) 同期信号 (H/H+V-SYNC または V-SYNC) の接続は正しいですか？ 確認してください。(13 ~ 14 ページ参照) その他 Mem SW Main Menu の Sig Adj 画面で " VOFST " の設定を変更してください。(45 ページ参照)
設定情報表示画面で画像の上部が曲がる	Main Menu の Signal 画面の VBP, VFP の設定を変えてください。(35 ページ参照)
画面に表示される文字が上下にブレる	Mem SW Main Menu の Sig Adj 画面の " VOFST " の値を変更してください。(45 ページ参照)
メモリーできない	メモリーページにメモリーがいっぱいの状態で、プリント中ではないですか？ プリント終了後リモコンの CLEAR ボタンを押し、再度メモリーしてください。 Mem SW Main Menu の Key Set 画面で P & C : OFF の状態でメモリーページにメモリーがいっぱいの状態ではないですか？ リモコンの CLEAR ボタンを押した後、再度メモリーしてください。(本機の各種設定状態によっては P & C : ON にする、PRINT ボタンを押す、のいずれかの操作でメモリーができます。)
プリントできない	プリントする画像をメモリーしていますか？ プリント用紙、またはインクシートが終了していませんか？ プリンティングユニットは確実に押し込まれていますか？ 再確認してください。

症 状

原 因 / 処 置

用紙いっぱいプリントできない

Main Menu の Print 画面の Mode で設定した用紙サイズSまたはLと装着しているインクシートサイズは合っていますか？

Lサイズ用の紙にSサイズの画像を印画していませんか？
再確認してください。（22～23ページ参照）

Main Menu の Area 画面でプリントでの範囲設定は適切ですか？
再確認してください。（40ページ参照）

メモリーした画像とプリントした画像の色や画質が異なる

メモリーした画像の調節が必要です。
Main Menu の Color 画面で画像を調節してください。（34ページ参照）

作成したコメントがプリントに印字されない

Main Menu の Print 画面の Com での設定が OFF になっていませんか？
Comの設定を ON にしてください。（39ページ参照）

コメントの内容が空白ばかりになっていませんか？
コメントを作成してください。（41～42ページ参照）

ワイヤードリモコンが操作できない

ワイヤードリモコンのプラグが本機の端子からはずれていませんか？
ワイヤードリモコンのプラグを本機前面のREMOTE端子に差し込んでください。
なお、付属のリモコンは本機後面の外部リモート端子では、ご使用できません。
本機のワイヤードリモコンをお使いですか？
本機のワイヤードリモコンのプラグを本機前面のREMOTE端子に差し込んでください。

Mem SW Main Menu のKey Set 画面で Lock が“ ON ”になっていませんか？
“ OFF ”にしてください。

SigCustomの“ Hdot ”の値と接続機器の表示画面水平画素数が違う

Main Menu のSigCustom 画面の“ Hdot ”を接続機器の水平画素数と合わせてから、再度Signal画面でAdjustを行なってください。（20～22ページ参照）

安全・お願い

各部の名称

接続のしかた

準備

プリント

機能設定

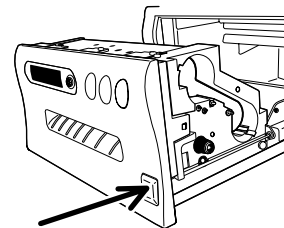
トラブル

その他

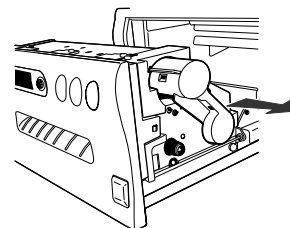
紙づまり等の処置

処置のしかた

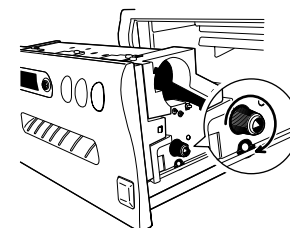
- ① プリンティングユニット搬出ボタンを押して、プリンティングユニットを引き出します。



- ② インクカセットを外します。
カセットロックアームを内側に押してインクカセットのロックをはずしてください。

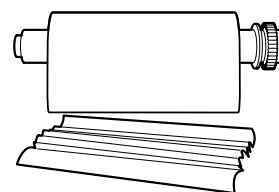


- ③ プリンティングユニット右側のノブを時計方向に回します。
プリント用紙を完全に巻き取ります。



- ④ プリント用紙を取りはずします。

- ⑤ プリント用紙の、しわになっている等の不良部分をはさみで切り取りま
す。



- ⑥ プリント用紙の両先端を切り取ります。

- ⑦ プリント用紙を装着します。(16～18ページ 参照)



お知らせ

49ページの エラーメッセージと処置(*注:3)でプリント用紙を送り出すために、MONITORボタンを押えたままMEMORY ボタンを押す手順を説明していますが、この操作を行う場合は必ず、MONITORボタンを先に押してください。
MEMORY ボタンを先に押すと、画像がメモリーされ、すでにメモリーした必要な画像が消えてしまう場合があります。

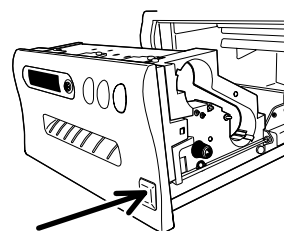
ヘッドクリーニングについて

プリント画像に白い縦線などが出る場合はサーマルヘッドにゴミや塵などが付着している事があります。この場合は以下の方法でサーマルヘッドをクリーニングしてください。

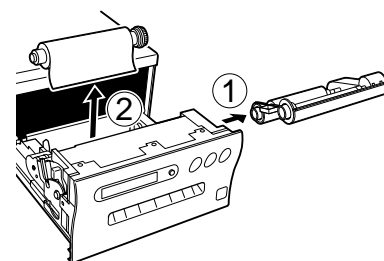
クリーニング期間は2カ月に1回を目安にしてください。(ただし本機のご使用回数や環境により期間は変わります。)

サーマルヘッドを傷つけないようにご注意ください。

① ドアを開けます。



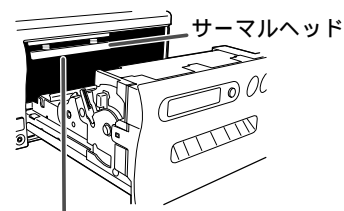
② インクカセット(①) とプリント用紙(②) を取り出します。



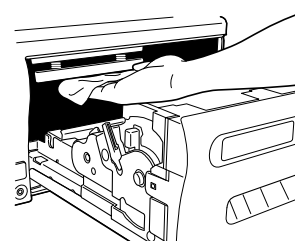
③ ヘッドを拭きます。

サーマルヘッド下面にある、発熱体部分を拭きます。

市販のビデオヘッド用のクリーニングクロスにアルコールを数滴含ませて軽く2～3回拭きます。



クリーニング箇所はサーマルヘッド下面にあります。



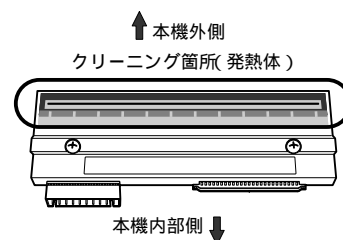
お知らせ

サーマルヘッドに傷が付く場合がありますので、ビデオヘッド用のクリーニングクロス以外のご使用にならないでください。

クリーニングしてもプリント画質が改善されない場合はサーマルヘッドの交換が必要です。

くわしくは販売店にご相談ください。

プリント直後のサーマルヘッドは高温になっている場合がありますので、クリーニングする場合はヘッドの温度が下がるまでしばらくお待ちください。



安全・お願い

各部の名称

接続のしかた

準備

プリント

機能設定

トラブル

その他

仕様と別売品について

仕様	
種類	カラービデオコピープロセッサ
形名	CP750A
プリント方式	昇華染料熱転写フルカラー方式 3色面順次印画(イエロー、マゼンダ、シアン)
印画品質	プリント画素数 最大1024 × 768ピクセル 階調数 256階調 (8ビット 約1670万色)
印画時間	Lサイズ標準モード時: 約39秒/画面 Sサイズ標準モード時: 約25秒/画面
印画シート	専用インクシート方式
プリント用紙	専用ロール用紙 Lサイズ 162 × 110mm 印画サイズ Wide モード 130 × 98mm Middleモード 123 × 92mm Narrowモード 120 × 90mm Sサイズ 110 × 107mm 印画サイズ Wide モード 100 × 75mm Middleモード 94 × 70mm Narrowモード 92 × 69mm
給紙方法	自動給紙
入力端子	RGBアナログ(BNC形接栓5個)
出力端子	RGBアナログ(BNC形接栓5個)
入出力端子	後面リモート端子(MINI DIN8ピン1個, ステレオミニジャック1個)
走査周波数	水平周波数 15 ~ 50kHz 垂直周波数 50 ~ 80Hz
電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	印画時 最大145W
使用環境条件	温度5°C ~ 40°C 湿度20% ~ 80% RH (結露なし)
設置条件	動作姿勢水平 ± 5°以内
外形寸法・質量	幅280 × 高さ150 × 奥行399 (mm) 14.5kg
付属品	電源コード(1本)、ACプラグ2P変換アダプタ(1個)、ワイヤードリモコン(1個)、保証書(1冊)、取扱説明書(本書)、脚(4本)、プリント用紙・インクシートの入れ方シート(1枚)、感熱紙取付け用アタッチメント(1組)

別売品

■ インクシート

品名	インクシートサイズ	プリント数	用途
PK700S	Sサイズ	200枚	カラープリント用
PK700L	Lサイズ	130枚	カラープリント用

■ プリント用紙

品名	プリント用紙サイズ	プリント数	用途
CK700	S/Lサイズ兼用	Sサイズ約200枚 Lサイズ約130枚	カラープリント用
SCT-K65H	S/Lサイズ兼用	Sサイズ約200枚 Lサイズ約125枚	モノクロ感熱紙プリント用

■ プリント用紙 + インクシート

品名	インクシートサイズ	プリント数	用途
CK700S4P	Sサイズ	110枚	表面保護コーティングカラープリント用
CK700L4P	Lサイズ	75枚	表面保護コーティングカラープリント用
CK700SC	Sサイズ	200枚	カラーシールプリント用
CK700LC	Lサイズ	130枚	カラーシールプリント用

■ インクシート + カセット (インクカセットにシートが組み込まれています)

品名	インクシートサイズ	プリント数	用途
PKC700S	Sサイズ	200枚	カラープリント用
PKC700L	Lサイズ	130枚	カラープリント用

■ トレイ / ケーブル

品名		用途
TR-700	トレイ	プリント用紙受け
JC-BNC15N	ケーブル	本機とNEC PC98シリーズとを接続
JC-BNC15GA	ケーブル	本機とIBM PC3シリーズとを接続
JC-1515MC	アダプタ	本機とMacintosh PC とを接続
JC-BNC15GA	ケーブル	本機とMacintosh PC とを接続

次の名称はそれぞれの会社の製品名または商標です。
NEC PC98, IBM PC, Macintosh PC

安全・お願い

各部の名称

接続のしかた

準備

プリント

機能設定

トラブル

その他

保証とアフターサービス

保証書(別添付)

保証書は必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入をお確かめの上、販売店からお受け取りください。保証書の記載内容をよくお読みのあと、大切に保存してください。

保証期間

本体：お買上げ日から1年間
サーマルベッド：お買上げ日から6ヶ月間
(但し、累積印画枚数7000枚以内)

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、カラービデオコピープロセッサの補修用性能部品を、製造打切り後最低8年間保有しています。(性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

修理・取扱い・お手入れなどのご相談は、お買上げの販売店へお申し付けください

修理を依頼されるときは

「修理を依頼する前に」をよくごらんになって、今一度お調べください。

それでも異常のあるときは、必ず電源プラグを抜いてから、お買上げの販売店にご連絡ください。

保証期間中は

- ・修理の際には、保証書をご提示ください。
- ・保証の規定に従って、販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

- ・修理すれば使用できる場合は、ご希望により修理いたします。

修理料金は

- ・修理技術料+部品代(+出張料)で構成されています。

INTERNET INFORMATION この製品に関する詳細情報、使用応用例などを、wwwサーバでもご提供しています。

<http://www.vcp.melco.co.jp/>

技術的なお問い合わせは三菱カラープリンタテクニカルセンターへ。



0120-710-391 (フリーダイヤル)

受付時間/AM9:00~12:00・PM1:00~5:00
(土、日、祭日を除く)



075-325-4195



pep-m@mbox.kyoto-inet.or.jp

愛情点検

長年ご使用のカラービデオコピープロセッサの点検をぜひ!

(熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により部品が劣化したり、ときには安全性を損なって事故につながることもあります。)



このような
症状は
ありませんか

電源コード、プラグが異常に熱い。
コゲくさい臭いがする。
製品に触れるとビリビリと電気を感じる。
電源スイッチを入れても、映像が出ない。
その他の異常・故障がある。

ご使用
中止

故障や事故防止のため、
スイッチを切り、コンセントから電源プラグを
はずして、必ず販売店に
ご相談ください。

カラービデオコピープロセッサの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後8年です。

三菱電機株式会社

京都製作所 〒617-8550 京都府長岡京市馬場園所1番地

871C957E5